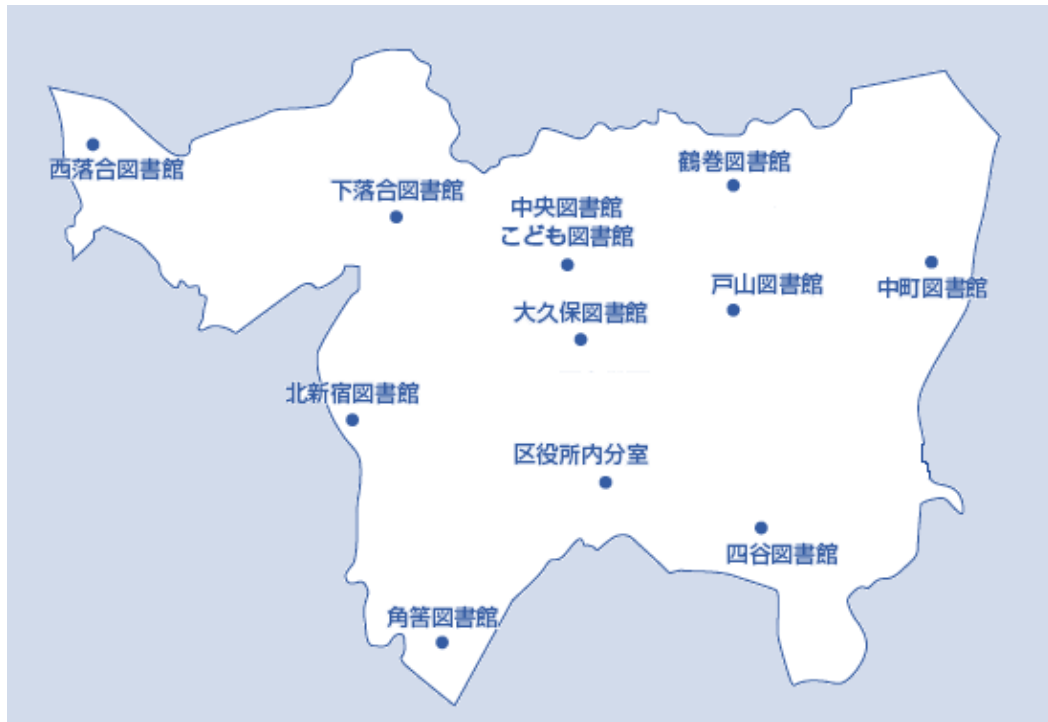


新宿区立図書館サービス計画

(令和3年度～5年度)



令和3年8月

新宿区立図書館

はじめに

新宿区立図書館では、平成 28 年 3 月に「新宿区立図書館基本方針」（以下、「基本方針」という。）を改定し、基本方針を達成するために、区立図書館ごとに「新宿区立図書館サービス計画」（以下、「サービス計画」という。）を毎年定めて、重点的な取組みや、達成状況などを明らかにしてきました。

しかしながら、令和 2 年 2 月から急速に広まった新型コロナウイルス感染症の影響により、日本全国の図書館が休館を余儀なくされる状況におかれ、また、計画していたイベントなども概ね中止となる事態が発生しました。そのため、令和 2 年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和 2 年度のサービス計画の策定、令和元年度の図書館サービスの達成状況の点検及び評価の実施については見送りましたが、令和元年度に計画した重点事業の達成状況に基づき、区の第二次実行計画（令和 3 年度～令和 5 年度）に合わせて、各区立図書館の重点事業として取り組む事業及び、全館共通取組み事業を策定しました。

重点事業においては、感染予防対策のための新しい様式を踏まえながら、地域課題解決への支援の視点や地域の実情に応じた取組みを進めていきます。また、全館共通取組み事業においては引き続き、「夏目漱石関連事業」「東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業」「区の各部署との連携事業」「図書館を応援する地域団体等との協働事業」「調べ学習への支援」の 5 点とし、基本方針の使命である「区民にやさしい知の拠点」の達成をめざして取り組んでいきます。なお、「東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業」については、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催終了までとします。その後、地域の情報センターとして、利用者とともに地域の情報を収集・発信する「地域とともに歩む図書館」を共通取組み事業として進めていきます。

また、新宿区立図書館運営協議会において、「新型コロナウイルス感染症対策下における区立図書館のあり方について」の協議を重ねてまいりました。その協議内容を掲載しました。令和 3 年度～5 年度における図書館サービスは、協議内容も踏まえつつ、区民及び利用者が安全に安心して利用できるような事業を実施していきます。

最後に資料編として、新型コロナウイルス感染症対策下における区立図書館の取組みを掲載しました。

目次

I.	サービス計画	1
1	令和元年度サービス計画／重点事業の達成状況	1
2	令和3年度～5年度サービス計画／重点事業	3
3	全館共通取組み事業	5
(1)	夏目漱石関連事業	5
(2)	東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業	11
(3)	区の各部署との連携事業	15
(4)	図書館を応援する地域団体等との協働事業	21
(5)	調べ学習への支援	29
II.	図書館運営協議会の意見等 ～新型コロナウイルス感染症対策下における区立図書館のあり方について～	33
III.	資料編	39
	新型コロナウイルス感染症対策下における区立図書館の取組み	39
(1)	区立図書館全体の取組み	39
(2)	各図書館の取組み（一般）	40
(3)	子ども読書活動全般における取組み	48
(4)	各図書館での取組み（児童）	50

I. サービス計画

1 令和元年度サービス計画／重点事業の達成状況

達成状況凡例

各図書館の重点事業の達成については、

⇒達成した、未実施、達成していない

のいずれを記載しています。

令和3～5年度の方向性については、

⇒継続、拡大、縮小、手段改善、廃止・終了

のいずれを記載しています。

※令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度サービス計画の策定及び令和元年度の評価を実施していないため、令和元年度サービス計画に対する達成状況を示しています。

中央・こども図書館

- ・新宿ゆかりのマンガや文豪などの地域資料の収集に取組みます。
⇒達成した⇒継続
- ・中央図書館敷地内校庭の有効活用の検討を行います。
⇒達成した⇒拡大
- ・「第五次新宿区子ども読書活動推進計画」の策定や中高生の利用促進などを進めていきます。⇒達成した⇒継続

西落合図書館

- ・開館40周年を迎え、写真展などの記念事業を行います。
⇒達成した⇒廃止・終了
- ・子育て支援事業を核にして教育機関と連携しながら図書館利用をPRしていきます。⇒達成した⇒継続 (事業の一部：拡大)
- ・区内各部署やまちと連携しながら地域ニーズに応じたサービスを展開します。⇒達成した⇒継続

下落合図書館

- ・「親子でリフレッシュ体操！」などの子育て支援事業を実施し、親子の絆づくりを応援します。⇒達成した⇒継続
- ・区の関連施設などと積極的に連携し、地域ぐるみの「介護・高齢者支援」を展開します。⇒達成した⇒継続
- ・特別展示やイベントを通じて、幅広い世代に新宿ゆかりの作家・夏目漱石の魅力を発信します。⇒達成した⇒継続

北新宿図書館

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックに関連した多文化体験イベントや多言語絵本のセット展示を通じて、多文化共生事業を展開します。
⇒達成した⇒継続 (事業の一部：手段改善)
- ・柏木地区や夏目漱石に関する資料、地域の団体とその活動に関する情報を積極的に収集し、提供します。⇒達成した⇒継続 (事業の一部：手段改善)
- ・「製本工作会」など製本・資料保存に関するワークショップを行います。
⇒未実施 (新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止) ⇒拡大

鶴巻図書館

- ・新宿ゆかりの作家「夏目漱石」常設展示コーナーを継続して設置し、充実を図ります。⇒達成した⇒継続
- ・新宿区の2大地場産業である印刷・製本産業ワークショップを行います。⇒達成した⇒継続
- ・時事について学べるUP - DATE展示を通して、学習活動を支援します。⇒達成した⇒継続

中町図書館

- ・神楽坂に関する地域資料など、幅広く資料を収集し、利活用して情報を発信します。⇒達成した⇒継続
- ・地域の課題解決のために、レファレンスの充実と質の向上を図ります。⇒達成した⇒継続 (事業の一部: 拡大)
- ・地域の大学や施設、地元企業と密に連携を図り、読書機会の提供や読書活動を支援していきます。⇒達成した⇒継続

大久保図書館

- ・日本の方と外国の方とでビブリオバトルを開催し「本を通しての国際交流」を実施します。⇒達成した⇒拡大
- ・多様な言語でのおはなし会を積極的に実施し、「国際理解」を推進していきます。⇒達成した⇒継続 (事業の一部: 拡大)
- ・「新宿学講座」や「朗読コンサート」など、魅力的なイベントを開催します。⇒ (事業の一部) 達成していない⇒継続

戸山図書館

- ・障害者等サービス拠点館として、誰にでも豊かな読書を支援する図書館を目指します。⇒達成した⇒継続
- ・オリンピック・パラリンピックの多様性と調和を伝え、世界を意識する図書館を目指します。⇒達成した⇒継続
- ・地域と連携し、新宿ゆかりの作家・夏目漱石の人物像と作品に迫ります。⇒達成した⇒継続

四谷図書館

- ・内藤新宿をはじめとする新宿や四谷の歴史や文化を区民に伝えます。⇒達成した⇒継続
- ・国内や海外の雑誌や外国語の図書の収集に力を入れます。⇒達成した⇒継続
- ・テーマ特設展示や棚展示など、工夫を凝らした資料展示を行います。⇒達成した⇒継続

角筈図書館

- ・ビジネス支援の拠点館として、最新資料の充実、各種ビジネス展示・講座を実施します。⇒達成した⇒継続
- ・学校や地域団体等と連携し、おはなし会、施設見学、共催事業等、地域貢献に努めます。⇒達成した⇒継続
- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に当たり、関連する資料の充実とイベントの実施を進めます。⇒達成した⇒継続

2 令和3年度～5年度サービス計画／重点事業

中央・こども図書館

- ・新宿ゆかりのマンガや文豪などの地域資料の収集に取組みます。
- ・旧校庭を「そらとだいちの図書館」として、「みんなの居場所をみんなでつくる」をモットーに図書館のにぎわい創出や、地域のゆるやかな繋がりづくりをボランティアと進めます。
- ・「第五次新宿区子ども読書活動推進計画」に基づき、プレママ・プレパパへの読み聞かせ啓発や、中高生の利用促進などを進めていきます。

西落合図書館

- ・ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～は、対象をすべての利用者に拡大します。
- ・子育て支援事業を核にして教育機関と連携しながら図書館利用をPRしていきます。
- ・区内各部署やまちと連携しながら地域ニーズに応じたサービスを展開します。

下落合図書館

- ・「親子でリフレッシュ体操！」などの子育て支援事業を実施し、親子の絆づくりを応援します。
- ・区の関連施設などと積極的に連携し、地域ぐるみの「介護・高齢者支援」を展開します。
- ・特別展示やイベントを通じて、幅広い世代に新宿ゆかりの作家・夏目漱石の魅力を発信します。

北新宿図書館

- ・多文化共生地域を意識し、多言語資料の充実や異文化に触れる企画など、様々な人が利用しやすい図書館づくりに努めます。
- ・区の各部署や近隣地域団体と連携し、図書館が身近な施設であることを感じていただけるような事業を実施します。
- ・子どもたちの読書活動を支援し、社会への興味や視野を広げるきっかけとなるような、多様なイベントを実施します。

鶴巻図書館

- ・夏目漱石ら早稲田・鶴巻地域ゆかりの人物や歴史、地場産業である印刷・製本関連産業についての資料収集や展示の充実を図ります。
- ・自治会や商店街などと協働して、子どもから高齢者まで各世代のニーズに応じた講座・サービスを企画・提供し、積極的に情報発信します。
- ・学校との連携を進め、YA本の帯デザイン賞などを通じ、青少年の魅力ある読書活動の機会を一層後押しします。

中町図書館

- ・地域資料、特に神楽坂に関する資料などを幅広く収集・提供します。
- ・地域の課題解決のために、図書館の利用を促進し、レファレンスの充実と質の向上を図ります。
- ・子どもの成長を支援するため、読書活動と子育ての支援に取り組み、また、地域の大学や施設等とも連携を図って、読書機会の提供と読書活動支援を行います。

大久保図書館

- ・日本の方と外国の方とでビブリオバトルを開催し「本を通しての国際交流」を実施します。
- ・多様な言語でのおはなし会を積極的に実施し、「国際理解」を推進していきます。
- ・「新宿学講座」や「朗読コンサート」など、魅力的なイベントを開催します。

戸山図書館

- ・障害者等サービス拠点館として、誰にでも豊かな読書を支援する図書館を目指します。
- ・区の関連施設と連携し、高齢者の情報活用能力向上を支援するイベントの実施・関連資料の充実を図ります。
- ・地域と連携し、新宿ゆかりの作家・夏目漱石の人物像と作品に迫ります。

四谷図書館

- ・内藤新宿をはじめとする新宿や四谷の歴史や文化を区民に伝えます。
- ・国内や海外の雑誌や外国語の図書の収集に力を入れます。
- ・テーマ特設展示や棚展示など、工夫を凝らした資料展示を行います。

角筈図書館

- ・ビジネス支援の拠点館として、最新資料の充実、各種ビジネス展示・講座を実施します。
- ・学校や地域団体等と連携し、おはなし会、施設見学、共催事業等、地域貢献に努めます。
- ・常に魅力あるイベントを実施し、区民が集う図書館として、新規利用者の取り込みを行います。

3 全館共通取組み事業

(1) 夏目漱石関連事業

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
中央	①100年本で読む漱石の時代	達成した	展示のためアンケートは実施していないが、令和2年12月の展示開始以降、貴重な古書を目にすることが出来て良かった等の声を複数いただいている。
	②漱石山房記念館連携朗読会	達成した	オンラインでの朗読会を実施した結果、「明確な発音、表現で臨場感があり聴きやすい」「朗読会を続けてほしい」旨の感想をいただいた。
こども	漱石関連資料収集、図書展示、POP作成	達成していない	中学生の職場体験での漱石作品POP作成展示を実施。令和元年度は参加生徒から「坊ちゃん以外にも読みやすい本があった」、「夢十夜はぞくぞくした。ぜひ友達に紹介したい」との声が寄せられた。
四谷	図書資料展示 「漱石をとりまく人々」(令和元年度)「知っているようで知らない漱石」(令和2年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、「漱石をとりまく人々」は21日間の展示期間中で展示資料が98点に対し貸出資料は36点であった。また、「知っているようで知らない漱石」は52日間の展示期間中で展示資料が65点に対し貸出資料は96点であった。
鶴巻	①「夏目漱石」常設資料展示(令和元年度)(令和2年度)	達成した	常設展示のため、アンケートの実施は行っていないが、「漱石を 間取り」で読むなどの珍しい本は利用者に手に取られる機会が多いように感じている。
	②漱石朗読会の実施(令和元年度、令和2年度)	達成した	【元年度】総数(45)件 とてもよい(31)件 よい(7)件 未記入(7)件・酒に関する作品という企画が面白い/自分でも読み返したいと思った。 【2年度】総数(28)件 とてもよい(11)件 よい(11)件 未記入(6)件・また漱石の朗読会をやってほしい。/別の地元作家でも朗読会をしてほしい。/漱石にちなんだ映画会をやってほしい。
	③漱石講演会の実施(令和2年度)	達成した	早稲田地域に関連した同様の講座の実施を期待する声をいただいた。
西落合	①ミステリークエスト～夏目漱石からの挑戦状～(令和元年度)	達成した	問題冊子597冊配布。問題が難しかった等の意見もいただいたが、幅広い年齢の人が参加し、謎解きを楽しんでくれた。
	②漱石山房記念館 ブックトーク(令和元年度)	達成した	地域連携の取り組みとして、ミステリークエストのイベントに併せて、ブックトークを実施し好評であった。
	③にしおち朗読会～漱石と芙美子～(令和元年度)	達成した	総数7件 満足7件 関連の写真パネルを見せながらの朗読であり、昔の落合がよくわかり、面白かったとのご意見をいただいた。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	収集、所蔵等の事務に関しては、図書担当の職員11名が通年で実施しており、展示の準備は担当4名が数日で行った。 今後も引き続き夏目漱石や漱石に関連する作家の古書を収集、所蔵し、利用者に館内で提供する。	重点事業	中央
継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により漱石山房記念館での開催は難しかったため、図書館ホームページへの動画掲載により実施した。 準備は担当職員5名が他業務と並行しながら3か月余りの期間をかけて行った。 今後も新型コロナの状況等を見極めながら、適切な方法で朗読会を実施する。	一般事業	
継続	例年、中学生の職場体験で漱石作品を実際に読んでもらい、友達に紹介したい作品のPOPの作成・展示を実施してきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策で職場体験が中止となったため未実施となった。 令和3年度は中学生の職場体験が再開される予定となり、今後も引き続き取り組んでいく。	一般事業	こども
継続	令和元年度に展示した「漱石をとりまく人々」では漱石の交流のあった文豪を紹介し、令和2年度に展示した「知っているようで知らない漱石」ではクイズ形式で漱石の人となりパネル展示及び資料展示で紹介した。今後も単に漱石の作品紹介だけではなく、様々な角度からの企画展示を重点事業として実施する。	重点事業	四谷
継続	漱石ゆかりの地として常設展示「夏目漱石」コーナーを設け、幅広く収集しているが、今後も貸出できる資料を継続して購入し、重点事業として継続していく。また、常設展示内で特集を組み、一層の利用促進も工夫していく。さらに早稲田古書店街との地域協働により手に入りにくい資料の収集も継続する。	重点事業	鶴巻
継続	漱石山房記念館と共催した過去2回の朗読会はいずれも満席となり、参加者からも次回開催を期待するご意見を多数いただいている。令和2年度開催時には目の不自由な方の参加もあり、今回は視覚障害者等への対応として点字案内を準備していく。また、地域の朗読ボランティアグループにご協力いただいております。地域連携の観点からも継続して実施していく。令和2年度は職員2人が事前交渉を含めて対応したが、軌道に乗ってきたので、効率的に事業を進められると考えている。	重点事業	
継続	漱石作品鑑賞のツボを語る連続講座を実施した（協力：NPO法人漱石山房）。適切な講演者の発掘に努め、参加者に漱石の魅力を感じていただけるような企画を一般事業として実施していく。	一般事業	
拡大	好評であったので、対象を小中高生からすべての利用者に拡大するため問題冊子も多く配布できると考えており、重点事業として実施する。	重点事業	西落合
拡大	対象を小中高生からすべての利用者に拡大するため重点事業として実施する。	重点事業	
拡大	好評のため、会場設定の拡大を考えており、重点事業として実施する。	重点事業	

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
戸山	①戸山・角筈・下落合図書館連携企画 「漱石さんぽ第二弾 新宿神楽坂を歩こう！ 漱石・明治の文豪ゆかりのスポットめぐり」 (令和2年度)	達成した	「漱石がテーマの企画というのも良かったし、歩いて巡るというのも、とても楽しかった」「しっかり下調べしており、図書館員の知識の豊富さがわかってとても良かった」「新宿区民ではないが、参加させていただきとても良かった」などの声が寄せられた。
	②戸山・角筈・下落合図書館連携展示 「漱石のルーツをたどる 新宿の文豪・夏目漱石」戸山図書館テーマ：『趣味人・漱石』(令和2年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、50日間の展示期間中で展示資料が29点に対し貸出資料は31点であった。
	③一般常設展示 「夏目漱石展示」(令和2年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、195日間の展示期間中で展示資料が74点に対し貸出資料は182点であった。
	④児童常設展示 「夏目漱石展示」(令和2年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、195日間の展示期間中で展示資料が74点に対し貸出資料は60点であった。
北新宿	①夏目漱石図書展示の実施(令和元年度・令和2年度)	達成した	漱石三択クイズや紹介POP、漱石語録の掲示を行ったことで、立ち止まって展示を見ている利用者が多く見受けられ、大変好評であった。
	②夏目漱石朗読会の実施(令和元年度・令和2年度)	達成した	・総数(14件) とても良かった(9)件 良かった(2)件 未記入(3)件・「楽しく聞けた」「話に引き込まれた」など好評をいただいた。また「非常によかったが、図書館側でもう少し朗読を聞く雰囲気を出せるとよりよいものになると感じた」との声が寄せられた。
	③地域広報誌等を積極的に収集し、閲覧に供するとともに、夏目漱石関連資料を充実させ、展示で広く利用者の目に触れるように工夫する。(令和2年度)	達成した	地域広報誌「わがまちかしわざ」は配布枚数も多く、来館者に需要がある。また、夏目漱石関連資料の展示は、利用者が足をとめ、手に取っていただけに見える様子が見受けられた。
	④柏木地区や夏目漱石に関する資料、地域の団体とその活動に関する情報を積極的に収集し、提供する。(令和元年度)	達成した	夏目漱石展示に合わせ、資料の充実を図った。また、地域資料架が奥まっているところにあるため、地域広報誌の配布場所が分かりやすいように、ポスターを掲示して、利用者への周知に努めた。
中町	①「ミニ展示 夏目漱石」・「なつめそうせきとねこ」(令和元年度) 「漱石を取り巻く人々」(令和2年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、「ミニ展示 夏目漱石」は、12日間の展示期間中で展示資料が15点に対し貸出資料は12点、「なつめそうせきとねこ」は、37日間の展示期間中で展示資料が90点に対し貸出資料は151点あった。(令和元年度)
	②朗読講座「漱石を読む」(令和元年度)	達成した	「楽しかった」「今後も実施してほしい」などの声が寄せられた。
	③まち歩き「漱石が歩いた牛込」(令和元年度)	達成した	「講師(地元の郷土史研究者)の路地・建物のエピソードなどが楽しかった」「幼少期からの漱石の『足跡』を感じた」「次回は神楽坂にあった落語の寄席についても知りたい」などの声が寄せられた。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	参加者アンケートにおいても満足度が高く、今後も需要が見込まれるため、継続して実施していく。漱石ゆかりの場所を何度訪れても新鮮に感じてもらえるよう毎回、テーマ設定や解説を工夫していくため重点事業として実施する。	重点事業	戸山
継続	戸山・角筈・下落合図書館と連携し、漱石の作品や内面などを多角的な視点から切り取ったテーマを設定し、今後も各館が作成したパスファインダーを相互に配布する。	重点事業	
継続	節目ごとに漱石に関するトピックを取り扱ったPOPを設置するなど、利用者の興味関心を引き付ける工夫を行うが、常設展示のため一般事業とする。	一般事業	
継続	児童室の展示コーナーには分かりやすい掲示を追加し、子ども達にも漱石の魅力をアピールしていくが、常設展示のため一般事業とする。	一般事業	
継続	利用者から好評であることに加え、今後は関連事業「夏目漱石朗読会」と時期を合わせるなど、より利用者の興味、関心を深めていけるよう工夫を凝らして取組むため、重点事業として実施する。	重点事業	北新宿
継続	令和元年度はNPO団体と連携して実施したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。今後は企画展示と開催時期を合わせ、引き続き夏目漱石作品を楽しむ機会を多く提供するとともに、朗読の雰囲気づくりや関連展示との時期も合わせて取組むため、重点事業として実施する。	重点事業	
手段改善	地域広報誌「わがまちかしわざ」を地域資料書架付近に設置し、地域資料とともに利用されやすいようにした。夏目漱石関連資料は貸出数も多く、関連資料の新作受入時には、すぐに貸出されることも多いため、利用者ニーズが高いことが伺える。また、漱石関連資料展示では、漱石三択クイズ、漱石語録を掲示したところ、資料とともに、多くの利用者が閲覧している様子があった。引き続き、関連資料の充実を図り、実施を継続する。	重点事業	
手段改善	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、館内の密を避けるために一時的に図書展示コーナーを移動・縮小したため、実施できなかった。今後は、図書展示だけでなく「古書展示」の事業でテーマとして取り入れるなど手段を改善し検討してくため、重点事業として実施する。	重点事業	中町
廃止・終了	朗読講座は大変好評であるが、イベントを開催するには館外の会場を用意する必要があり、新型コロナウイルス感染症下での実施は困難であるため、当面実施しない。将来的には新型コロナウイルス感染症の状況を見て実施を再検討する。	実施しない	
手段改善	まち歩き事業は大変人気があり、リピーターも大勢いらっしゃるが、定着した事業のため一般事業として実施する。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、神楽坂・牛込地域のまち歩きとして継続的に実施する。	一般事業	

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
角筈	①戸山・角筈・下落合図書館連携企画 「漱石さんぽ第二弾 新宿神楽坂を歩こう！<漱石・明治の文豪ゆかりのスポットめぐり>」	達成した	漱石まちあるきより「漱石がテーマの企画というのも良かったし、歩いて巡るというのも、とても楽しかった」などの声が寄せられた。
	②戸山・角筈・下落合図書館連携展示 「漱石のルーツをたどる 新宿の文豪・夏目漱石」角筈図書館テーマ：『漱石の源流』	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、51日間の展示期間中で展示資料が49点に対し貸出資料は54点であった。
大久保	「Around the World ~Soseki Natsum e展」の実施（令和2年11月13日～12月28日）	達成した	アンケートを実施していないが、展示をご覧になられた方からは、「表紙を見て海外で漱石がどのように受容されていたのかを知る手がかりとなり、大変興味深い」等の感想をいただいた。また漱石山房記念館のHPにもチラシを掲載していただき、ご協力をいただくことができた。
下落合	①戸山・角筈・下落合図書館連携企画 「漱石さんぽ第二弾 新宿神楽坂を歩こう！<漱石・明治の文豪ゆかりのスポットめぐり>」（令和2年度）	達成した	・総数10件「とても良かった」10件 「判りやすい、ご説明で、大変興味深い内容。私にとって、すばらしい発見がたくさんありました！」などの声が寄せられた。
	②戸山・角筈・下落合図書館連携展示 「漱石のルーツをたどる 新宿の文豪・夏目漱石」下落合図書館テーマ：『漱石と手紙』（令和2年度）	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、47日間の展示期間中で展示資料が49点に対し貸出資料は149点であった。
	③夏目漱石の魅力に迫る講演会「『吾輩は猫である』の面白さ」（令和元年度）	達成した	・総数16件「とても良かった」10件「良かった」5件「あまり良くなかった」1件 「豊富な知識で、本当にまとまるのか心配だったが最後に見事「面白い」と感じさせられた」 ・「漱石作品をほとんど読んでいないが、今回の講演を聞いて色々読みたくなった」などの声が寄せられた。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	戸山・角筈・下落合図書館連携企画「漱石さんぽ」は継続していくが、毎年、さんぽコースや内容は見直しを図り、常に利用者満足度と運営のレベルアップを目指すため、重点事業として実施する。	重点事業	角筈
継続	戸山・角筈・下落合図書館連携企画展示についてもイベント開催時期に新たな漱石関連のテーマを決めて重点事業として実施する。	重点事業	
継続	漱石山房記念館、国際交流基金ライブラリーにおいて、ホームページでも取り上げていただいた。また観覧をされた方々からは、毎回、好評をいただいていることもあり、重点事業として継続して実施していく。約1か月前から、3名で選書、借用の手配、展示方法等を検討し、実施している。	重点事業	大久保
手段改善	満足度が高く、まち歩きイベントの需要が高いため、現状を維持していくが、新型コロナウイルスの感染状況により開催形態を検討していく。	重点事業	下落合
継続	貸出しの回転率が高く、作成したブックリストも広く頒布し、関心を高めることができた。今後もテーマを変えながらスポットを当て、地域ゆかりの作家の魅力を利用者へ伝えていく。	重点事業	
継続	夏目漱石研究において、第一人者で知名度が高い講師を採用していることから、参加者からの満足度が高く、期待も大きい。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされたが、今後も開催形態を工夫して事業を継続していく。	一般事業	

(2) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
中央 こども	東京2020オリンピック・パラリンピック特別展示	達成していない	—
四谷	パラリンピック関連イベント「やってみよう！ ポッチャ体験」(令和元年度)	達成した	アンケートの実施は行っていないが、参加者は小学低学年を中心に子ども9名、大人12名の合計21名であった。
鶴巻	①「目指せ！金メダル～本をヒントにスポーツ 上達」(令和元年度)	達成した	23名の子どもたちが参加し、課題達成へのプレゼントの金メダルは大変好評であった。
	②東京2020オリンピック・パラリンピック特 設展示(令和2年度)	達成した	展示のためアンケートは未実施で、217日の展示 期間で、展示資料75点、貸出44点だった。
西落合	①「柔道を楽しく観戦する秘訣、教えます！」 (令和元年度)	達成した	総数10件 満足10件・講師による分かりやすい 見どころのポイント解説で、観戦に役立つ秘訣を 数多く知ることができた。
	②「多文化・異文化を理解しよう！EU編」 (令和元年度)	達成した	総数9件 満足9件・東京オリンピック・パラリン ピック開催に向け、諸外国の文化を理解すること により生活様式の違いの話などは知らなかったこ とも多く、とても分かりやすかった。
戸山	①一般展示「もっと五輪を知ろう！～2020に 向けて～」(令和元年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていない が、46日間の展示期間中で展示資料が100点に対 し貸出資料は77点であった。
	②児童展示「調べて金メダル！五輪マスターに なろう！」(令和2年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていない が、127日間の展示期間中で展示資料が37点に対 し貸出資料は39点であった。
	③多言語おはなし会(令和2年度)	達成した	「なかなか様々な言葉に触れられないので、「す てきな3人組」の三か国語が特に良かった」「フ ランス語に親しむ良い機会をいただけた」などの 声が寄せられた。
	④出張おはなし会時に、オリパラ関連の読み聞 かせ実施(令和元年度)	達成した	子ども総合センター「あいあい」において、「走 る」「跳ねる」といったスポーツに関連した資料 の読み聞かせを行い、参加した児童が絵本の言葉 を復唱する場面なども見られ、好評であった。
北新宿	①東京2020オリンピック・パラリンピック展 示(令和元年度・令和2年度)	達成した	オリンピック・パラリンピック開催に向けて重点 的に資料収集を行っている。カウンター前での展 示架設置と新刊中心の展示により、利用者の関心 が高いことが伺える。
	②異文化体験イベント(外国楽器に触れる演奏 会)を実施する。(令和元年度、令和2年度)	未実施	令和2年度2月末に開催の予定で、多くの申し込み をいただいたが、新型コロナウイルス感染拡大防 止のため中止となった。お問い合わせの際に中止 をお伝えすると「楽しみにしていたので残念」 「またやってほしい」との声を多くいただいた。
	③多言語絵本のセット展示(令和元年度)	達成した	外国人利用者の親子が、コーナーを利用している 様子が見受けられた。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により常設展示のみ実施した。 令和3年度は東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて特別展示を行い、開催への機運を高めていく。	重点事業	中央
廃止・終了	ボッチャは、障害のある方でも、力のない方でも参加可能な競技で、参加者から大変好評であった。令和3年度はコロナ禍である点を踏まえ前年度に続き事業を見送り、4年度以降はオリパラ関連事業としてではなく、どなたでも参加できるという観点から生涯学習事業としてシフトしていきたい。	実施しない	四谷
継続	「目指せ！金メダル」は好評で、目的を果たせたと考えている。特設展示は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の終了時までとする。	一般事業	鶴巻
継続		一般事業	
拡大	解説テーマを他の競技にも広げて拡大するため、重点事業として実施する。	重点事業	西落合
拡大	アメリカやアジアなど他の地域編について拡大を検討しているので、重点事業として実施する。	重点事業	
廃止・終了	東京2020オリンピック・パラリンピックの周知目的は達成したため、終了する。	実施しない	戸山
廃止・終了	東京2020オリンピック・パラリンピック実施予定の2021年9月まで展示した後、終了する。	実施しない	
手段改善	参加者の満足度は高く、児童が多言語に触れる場としての需要も高いため実施を継続していくが、効率的に事業を実施できるため、一般事業とする。また、新型コロナウイルスによる感染状況を踏まえ、会場や実施内容を再考していく。	一般事業	
廃止・終了	出張おはなし会については継続するが、オリンピック・パラリンピック関連資料の読み聞かせは周知目的を達成したため終了する。	実施しない	
拡大	東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けて関連資料が利用者の目に触れる機会が増えるよう、令和3年度も企画展示を継続して実施する。競技大会終了後は事業を終了する。	一般事業	北新宿
継続	両年度とも新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。令和元年度については、募集締切後の中止となり、左記のような開催を望む要望も多かったため、継続して実施する。	重点事業	
手段改善	多言語絵本展示「くらべてみよう」のコーナーは、日本語版のみ貸出しされていく傾向が高い。利用者に関心を持っていただけている様子が見受けられるため、設置場所は変更せず、展示方法を工夫して継続して実施する。	一般事業	

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
中町	企画展示「東京2020オリンピック・パラリンピックでおもてなし～準備はできていますか?～」(令和元年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、41日間の展示期間中で展示資料が82点に対し貸出資料は111点であった。
角筈	①出張おはなし会時に、オリパラ関連の読み聞かせ(令和元年度)	達成した	オリンピックを間近で見る機会であるため、とても興味を持って聞いていたと、先生から伺った。
	②おもてなし英会話講座(令和元年度)	達成した	おもてなし英会話講座で「発音の基本、注意すべき言い回しなど大変参考になりました」「分かり易くコツを教えて頂き実践に役立ちます」等の声が多数寄せられた。
大久保	ミニ展示「2021オリンピック特集」(児童コーナー)を実施(令和3年2月13日～3月10日)	達成していない	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、22日間の展示期間中で展示資料が25点に対し貸出資料は33点であった。
下落合	①【オリンピック・パラリンピック応援企画展示】「五輪がくる」(令和2年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、217日間の展示期間中で展示資料が176点に対し貸出資料は140点であった。
	②【オリンピック・パラリンピック応援企画】下落合図書館視聴覚展示「Music Link～音楽で楽しむ、もうひとつの五輪@下落合図書館～」(令和2年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、225日間の展示期間中で展示資料が128点に対し貸出資料は374点であった。
	③子ども英語de工作会「英語で作ろう!ペーパークラフト・おさかなさんの帽子」(令和2年度)	達成した	・総数4件:「とても楽しかった」3件「楽しかった」1件・「今後も工作イベントやってほしいです」などの声が寄せられた。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
廃止・終了	東京2020オリンピック・パラリンピック終了時には、関連事業も終了する。	実施しない	中町
廃止・終了	東京2020オリンピック・パラリンピック終了時には、関連事業も終了する。	実施しない	角筈
廃止・終了	開館日数が少なかったことと、オリンピック・パラリンピックの開催自体が危ぶまれていたため、ミニ展示という形にとどめたが、令和3年度は通常の展示の一環として、期間を設けて行う。オリンピック・パラリンピックの閉会とともに、終了する。	実施しない	大久保
縮小	2年間通年展示することにより、十分に事業目的を果たせた。オリンピック開催に向けて、展示資料を厳選しつつ、規模を縮小して継続する。	一般事業	下落合
廃止・終了	2年間通年展示し、十分に目的を果たせたため終了する。	実施しない	
継続	外国人講師により、多文化・多言語に触れ合う機会が提供でき、かつ工作会の需要も高いため、一般事業として継続するが、新型コロナウイルスの感染状況により開催形態を検討していく。	一般事業	

(3) 区の各部署との連携事業

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
中央 こども	自殺防止月間における連携展示（令和元年度、令和2年度）	達成した	展示のためアンケートは実施していないが、30日間の期間中、展示資料が112点に対し貸出資料は133点であった。 来館者からは「このような展示があつて良かった」旨のご意見をいただいた。
こども	絵本でふれあう子育て支援事業（令和元年度、令和2年度）	達成していない	保健センターでの乳幼児健診時に絵本配付とともに対面で読み聞かせを行うことは、家庭での読み聞かせの普及と読書習慣の涵養にきわめて大きな意義があるとのご意見をいただいた。
四谷	①認知症サポーター養成講座（令和元年度） （四谷高齢者総合相談センターの職員を講師に迎えて実施）	達成した	・総数(15)件 賛成(15)件 反対(0)件 「とても為になった。わかっているつもりでいてもちゃんとした講座を受けると改めて考えさせられる。」「認知症を巡る地域間の対応制度などの枠組みが理解でき有益であった。」「認知症について理解を深める活動が出来たらと思い、まずは家族や友人に伝えようと思った。」「実際に活動しているボランティアの話が一番印象深かった。」「認知症の方と接する時の心構えや支援についてわかった。」
	②絵本でふれあう子育て支援事業（令和元年度）	達成した	毎回20組前後の親子が立ち寄ってくださり、絵本に触れていただく良い機会となった。
	③中学生対象ブックトーク（四谷中学校）（令和元年度）	達成した	朝読書支援の一環として、各学年の各クラスを訪問し実施した。アンケートの実施は行っていないが、各学年約100名にブックトークのリストを渡し情報提供を行った。
鶴巻	①絵本でふれあう子育て支援事業（令和元年度・令和2年度）	達成した	毎回20～50組くらいの親子が立ち寄ってくださり、絵本に触れていただく良い機会となった。
	②「平和事業」として、鶴巻地域の戦跡を中心に特別展示を行う。総務部作成の平和に関するDVDを館内放映する。（令和元年度・令和2年度）	達成した	平和に関する展示に合わせて、利用者の方に目を向けていただけるよう、DVDの放映を行ったところ、好評であった。
西落合	①新宿打ち水大作戦（環境対策課）（令和元年度）	達成した	昔行っていた打ち水を経験し、気温の低下や風の涼しさを実感できた。
	②図書展示（保健センター）（令和元年度・令和2年度）	達成した	年間2回実施。令和2年度は「女性の健康 おうちでできる健康生活」1回のみ実施し好評であった。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	担当職員5名が他業務と並行しながら数日かけて準備し、実施した。 今後も引き続き自殺防止月間に合わせて啓発展示を実施していく。	一般事業	中央
継続	令和2年度は絵本配付は継続したが、読みきかせは新型コロナウイルス感染症の影響により乳幼児健診が時間短縮されたため中止となった。代替として、乳幼児健診会場にパネルを掲示して読み聞かせの楽しさ、大切さを周知している。 今後も読み聞かせの再開に向けて、保健センターと協議していく。	一般事業	こども
継続	認知症サポーターとしての意識を持ってもらうために、サポーターの目印である「オレンジリング」を配布した。今後も認知症を理解し支援する受講者を増していくために事業を継続していく。	一般事業	四谷
継続	保健センターでの0歳児・3歳児検診の際に職員が出張し、おすすめ絵本の案内、読み聞かせボランティアのサポートなどを行ってきたが、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響によりで参加を見合わせた。保健センターにおける読み聞かせは、図書館に関心を持つ機会となることから一般事業として継続する。	一般事業	
継続	ブックトークにおいて、「四谷図書館員がおすすめする本」、「食」、「推理小説と絵本」などのテーマを設け実施し関心をもらっていると感じており、今後も様々なテーマで事業を継続していく。	一般事業	
継続	保健センターでの0歳児・3歳児検診の際に職員が出張し、図書館紹介やおすすめ絵本の案内、読み聞かせボランティアのサポート等を行ってきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりで参加を見合わせた。交代制で1人で行うため、令和3年度に再開した場合は一般事業として実施していく。	一般事業	鶴巻
継続	「新宿区平和都市宣言」を念頭に、早稲田・鶴巻地区で起こったことや、平和の取り組みを発掘発信し、平和継続には何が必要かを考える展示企画や講演会の開催は当館の責務と考える。性格上、貸出ができない地域資料や貴重資料も多くの方に手に取ってもらえるようにしたい。 令和元年度は「榎地区地域だより」に掲載された地域の方の戦争体験記事をパネル化し展示した。早稲田古書店街より地域資料を購入するなど地域連携も引き続き行う。	一般事業	
継続	気温が高くなる傾向もあり、好評であったため重点事業として実施する。	重点事業	西落合
継続	以前のように年2回の実施を目指すため重点事業として実施する。	重点事業	

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
戸山	①平和事業（展示、映画会、おはなし会）（令和元年度・令和2年度）	達成した	『平和祈念映画会』参加者より、「戦争の悲惨さを若い人にもっと知っていただきたいと思う」「悲しいということの意味を深く考えさせられた」「印象に残るいい映画でした」などの声が寄せられた。
	②戸山生涯学習館まつりへの参加「マルチメディアデイズおはなし会」（令和元年度）	達成した	会館まつりで多くの方が流動的にイベントに参加していたため、アンケートは実施していないが、マルチメディアDAISYを体験した児童の多くが本イベントを楽しんでおり、文字にハイライトがつけられることや朗読スピードが変えられることに驚いていた。
	③四谷保健センターとの連携展示 「セルフケアであなたもヘアトラブル知らず」 「自宅をカフェに、優雅な日々を」（令和2年度）	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、貸出点数は以下の通りであった。 「セルフケアであなたもヘアトラブル知らず」 23日間の展示期間中で展示資料が23点に対し貸出資料は12点であった。 「自宅をカフェに、優雅な日々を」 25日間の展示期間中で展示資料が31点に対し貸出資料は16点であった。
北新宿	①女性の健康に関する講座の実施（令和2年度）	達成した	・総数(8)件 とても良かった(4)件 良かった(4)件 「参加してよかった」「参考になった」など好評をいただいた。また、「個別相談会のようなものがあってもよい」との声も寄せられた。
	②「脳トレ教室」への参加（令和元年度・令和2年度）	達成した	「この作家の詩を読んで欲しい」「メロディーに合わせて歌ってみたい」などご要望をいただくこともあり、その都度要望を取り入れながら開催している。
	③「きたさんまつり」でのリサイクル本提供（令和2年度）	達成した	提供したリサイクル本を立ち止まって見たり、内容を確認している姿が見受けられた。次回のリサイクル本の提供はいつになるか等、リサイクル本の提供を楽しみに待つ利用者もいる。
中町	出張おはなし会（あいじつ子ども園、あいじつ児童館、北山伏児童館、薬王寺児童館）（令和元年度）	達成した	年間28回実施（令和元年度実績）。アンケートの実施は行っていないが、参加者からは大変好評であり、参加者が図書館に立ち寄る際にはレファレンスが寄せられるなどの成果があった。
角筈	①平和展示と児童おはなし会（令和元年度）	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、31日間の展示期間中で展示資料が50点に対し貸出資料は43点であった。
	②新宿区保健センターと共催し、『健康』をテーマにした展示（令和元年度）	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、26日間の展示期間中で展示資料が27点に対し貸出資料は29点であった。
	③新宿区社会福祉協議会からのボランティア受入れと新宿区養護学校での出張おはなし会（令和元年度）	達成した	ボランティアの方からは「読み聞かせをしてみたかったので、参加して良かった」などの声が寄せられた。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
手段改善	新宿区全体で実施されている平和事業の一環として、中央図書館より借用したDVDを使用し平和祈念映画会の実施や資料展示を実施してきたが、今後はより多くの人に向けた情報発信も視野に入れ、インターネットを活用した企画も検討していく。	重点事業	戸山
継続	会館まつりは毎年行われており、図書館が参加することも定例となっているため一般事業として実施していくが、利用者に図書館へ足を運んでもらうだけでなく、地域住民と交流を図り、地域に根差した図書館として認知度向上に務める。	一般事業	
継続	今後も四谷保健センターと連携し、展示を実施していくが、今後は利用者の目に触れやすい場所へ展示場所を変更し、貸出冊数の増加を図っていく。	一般事業	
継続	女性の健康支援センターの協力のもと、乳がんやその健診に対する関心を高め、意識していただく機会を提供できた。今後は、個人相談会の開催も含め、講座内容を工夫し、資料展示との連動企画として継続する。	重点事業	北新宿
継続	複合施設内、地域交流館で行われる月2回の「脳トレ教室」に、毎月1回継続的に参加し、早口言葉や詩の紹介を図書館資料を用いて紹介した。地域交流館は、図書館と合わせて利用される方が多く、連携は必須と捉え、継続実施していく。	重点事業	
継続	令和元年度は複合施設全体行事「きたさんまつり」にて、リサイクル本（児童）を提供した。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントは中止となったが、今後も開催に合わせて図書館の企画を実施していきたい。	重点事業	
継続	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。連携先の受入れ状況にもよるが、実施することによって認知度の向上と交流のきっかけとなっているため、今後も一般事業として取り組んでいく。	一般事業	中町
拡大	新宿区平和事業に合わせ実施した。今後は展示スペースの拡大、対象年齢別パスファインダー作成なども検討し、引き続き重点事業として取り組んでいく。	重点事業	角筈
手段改善	新宿区保健センターと連携して実施した。今後は健康関連の講座や講演会、屋外での講習なども検討し、引き続き重点事業として取り組んでいく。	重点事業	
継続	常時ボランティア5名にて稼働し、令和元年度の夏休みには学生ボランティア10校14名を受入れ、図書館員として読み聞かせを体験した。それぞれの団体と連携し、今後は一般事業として取り組んでいく。	一般事業	

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
大久保	①「しんじゆく防災フェスタ2019」への参加 (令和元年9月1日開催)	達成した	アンケートは実施していないが、大久保図書館のブース内で、韓国語、中国語、アラビア語、日本語で読み聞かせや防災に関する紙芝居などを行い、多くの親子の参加者から喜ばれた。
	②「大新宿区まつり ふれあいフェスタ2019」への参加 (令和元年10月20日開催)	達成した	アンケートは実施していないが、しんじゆく多文化共生プラザと協働のブース内で、大久保図書館の多文化サービスの取り組みを紹介し、参加者には図書館利用のアピールにつなげた。
下落合	①介護・高齢者支援展示「認知症と向き合う～コロナ時代の認知症対策～」(福祉部落合第一高齢者総合相談センターとの連携) (令和2年度)	達成した	展示のため、アンケートの実施は行っていないが、45日間の展示期間中で展示資料が50点に対し貸出資料は72点であった。
	②介護・高齢者支援セミナー「認知症サポーター養成講座～正しく知ろう認知症～」(福祉部落合第一高齢者支援センターとの連携) (令和元年度)	達成した	総数5件 「とても良かった」3件「良かった」2件 「図書館でこのような講座を行なうことは良いことで喜ばしい」「自分だったら「どう生きて行くか」を考えるヒントになった。」「とてもいいイベントなのに地元の人達が知らないのがもったいないと思った。」などの声が寄せられた。
	③絵本でふれあう子育て事業(保健センターとの連携) (令和元年度・令和2年度)	達成した	毎回50組前後の親子が立ち寄ってくださり、絵本に触れていただく良い機会となった。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。令和3年度も中止が決定したが、令和4年度以降は、新型コロナウイルス感染症の収束を見越して、継続しての参加を検討していく。区の多文化共生事業に参加をして、その一角を担う重点事業として行う。例年、約1か月前から、館長と児童担当者3名で準備に入る。参加を重ねていることから、ノウハウには通じている。当日は、終日、多言語の読み聞かせを中心にした人員配置（常時3名）を行って対応している。	重点事業	大久保
継続	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。令和3年度も中止が決定したが、令和4年度以降は、新型コロナウイルス感染症の収束を見越して、継続しての参加を検討していく。しんじゅく多文化共生プラザとの連携による、区の多文化共生事業の一角を担う重点事業として行う。初回時に展示物を作成しており、それを基にして都度修正を加えている。準備は館長が行い、当日は、案内役として、午前と午後に1名ずつ常駐している。	重点事業	
継続	介護・高齢者支援の拠点館として本事業を重点事業としており、年間を通じて展示を行っている。展示コーナーにはパスファインダーの他、落合第一高齢者総合相談センターと連携してチラシ・パンフレット等も設置し、利用者が情報にアクセスしやすいコーナーとして事業を継続する。	重点事業	下落合
継続	継続的に実施することで落合第一高齢者総合相談センターとの結びつきも強固となっている。認知症介護の当事者や認知症サポーターにより実際の体験談を語っていただくなど、実践的なセミナー内容が好評だった。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、地域ぐるみの高齢者支援につながる機会を提供するため、今後も現状を維持した内容で継続事業としていく。	重点事業	
継続	保健センターでの0歳児・3歳児検診の際に職員が出張し、図書館紹介やおすすめ絵本の案内、図書館員による読み聞かせや、読み聞かせボランティアのサポート等を行ってきたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりで参加を見合わせた。保健センターと相互に開催形態を模索しつつ、絵本を通じて親子でふれあう機会を提供していく。	一般事業	

(4) 図書館を応援する地域団体等との協働事業

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
中央	①区内大学生等とのコラボ展示	達成していない	—
	②大学図書館との連携サービスで、大学図書館利用の紹介状の発行、協定大学図書館利用の手続きを行う。	達成した	(アンケートは確認していないが)「サービスを利用したい」、「継続利用したい」という声がある。
四谷	①信濃町シニア活動館における「ビブリオバトルワークショップ」(令和元年度)	達成した	アンケートの実施は行っていないが、参加者から「専門書ばかり読んでいたから全然知らない本の紹介が聞けて楽しかった」という声があった。
	②新宿地域交流館における「ブックトーク」(令和元年度)	達成した	アンケートの実施は行っていないが、イベントには11名が参加された。本を読みたいけれどもどんな本があるかわからないという方々に、ブックガイドの活用方法を始め、大人も楽しめる児童書やビートルズなどの音楽資料を紹介した。多くの方が熱心にメモを取りながら参加された。
	③エデュケアセンター新宿への出張おはなし会(令和元年度、令和2年度)	達成した	アンケートの実施は行っていないが、参加者の年齢層や季節の食べ物系の本を中心にプログラムを工夫したところ好評であった。
鶴巻	①学生ボランティアと連携した地域交流(令和元年度、令和2年度)	達成した	早稲田大学児童文学研究会には「おはなし会」に定例参加してもらっている。また、早稲田大学アナウンス研究会と共に地域の写真館を会場として協働実施している「おたのしみ会」は地域の子育て世代に大変好評である。
	②区内の古書店街や地域広報誌等との連携(令和2年度)	達成した	令和2年度に刊行した鶴巻図書館報「つるさんのおたより」では早稲田地域の古書店街を紹介する特集記事を連載中である。また、「高田馬場経済新聞社」やケーブルテレビ「JCOM」など、地域に密着した広報機関で鶴巻図書館のイベントを取り上げていただいた。
	③地域の特色に関する講座や課題解決に繋がるワークショップ等、町会・商店会など地域と連携した企画を実施する。(令和2年度)	達成した	「早稲田かつおフェスタ」に合わせ、広報チラシ作成や関連展示を実施。また、町会の会合に定期的に出席して、情報収集、意見交換を行っている。
	④近隣のNPO法人や企業との共同企画を実施する。(令和2年度)	達成した	YA向け「帯デザイン賞」は当初の想定を超える411作品を集めることができた。優秀作品の選考には地元の出版社や古書店街にご協力いただき、選考の経過や選考委員から中高生へのメッセージを図書館報に掲載した。
	⑤近隣博物館と連携し、共同イベントを実施する。(令和2年度)	達成した	区立漱石山房記念館との共催事業として、「大人のための朗読会」を令和元年度・令和2年度と実施し、毎回満席となり大変好評である。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
廃止・終了	区内大学側からの持ち込み事業で開始したが、新型コロナウイルス感染症により令和元年度、2年度とも実施できなかった。大学からの提案によるものであるため、都度、検討していくこととし、重点取組を終了する。	実施しない	中央
継続	令和元年度は区立図書館全体で32件の利用があったが、令和2年はコロナ禍のもと大学図書館の利用が制限され事業実施ができなかった。問い合わせ・需要があることから、引き続き今後とも事業を継続していきたい。	一般事業	
継続	傍聴の予定で集まられた方も急遽参加され、また信濃町シニア活動館長が今後ビブリオバトルを活動の軸にしたいと希望されるなど、生涯学習の機会の提供の場として需要があることから事業を継続する。	一般事業	四谷
継続	イベント終了後、紹介した本をすぐに借りていかれたりするなどの反響があった。また、図書館以外の場所に赴いてイベントを行う意義も感じられたが、一般事業として今後も事業を継続する。	一般事業	
継続	コロナウイルス感染症対策として設置しているパーテーション越しでの読み聞かせは、幼児の集中力を妨げてしまう場合があるため、紙芝居や大型絵本を利用するなどの工夫をしながら、引き続き実施していく。	一般事業	
継続	いずれも新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は休止中であるが、状況を見て再開する予定である。	一般事業	鶴巻
継続	各団体にはイベント事業での連携や図書館館報への掲載などご協力いただいているが、ご協力いただいた方々自身からも図書館の取組みに非常に感謝いただいている。 「帯デザイン賞」では、地元の学習院女子中等科が、授業の一環で「本の帯」作成に取り組んでいたため、多数の応募につなげることができた。 イベントや図書館報づくりには、それなりに時間と手間がかかるが、そこでの出会いが新たな企画を生み出す原動力になっている。たとえば、館報で取り上げた寺の住職が人生100年講座の講師で講演する予定である。そうした相乗効果を生かし、図書館をより身近な存在として感じていただけるよう今後も地域の方々との連携を進め、重点事業として実施していく。	重点事業	
継続		重点事業	
継続		重点事業	
継続		重点事業	
継続		重点事業	

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
西落合	①落合三世代交流サロンとの連携（令和元年度・令和2年度）	達成した	三世代交流サロンでのイベントの開催やおちあいFMにおいて図書館情報を放送していただいたり、「にしおち図書館だより」を配布してもらっている。
	②落合「染の小道」イベントの参加『みんなで「百人染め」～林芙美子の世界を染め上げよう～』（令和元年度）	達成した	「染の小道・川のギャラリー」で「みんなで色付けをした作品が展示されるのが楽しみ」などの声が寄せられた。
	③『新宿学「落合1922”目白文化村”の謎を解く』』（令和元年度）	達成した	総数19件 満足19件 地元根差したテーマであったため反応が良く、講演後、地元の歴史を調べる方や講演を通じて新たな人の繋がりも生まれていた。
戸山	①医療セミナー(国立国際医療研究センター：令和元年度)(防衛省技官：令和元年度)	達成した	「何となく後まわしにしていた話を具体的に教えていただいた。考えて話していこうと思う」「今まで漠然としか考えていなかったが、よく家族と話して、決定しておく必要があることが大事であることがわかりました」などの声が寄せられた。
	②「こうばこの会」と協力した「朗読で味わう文学」の実施（令和2年度）	達成した	「心が落ち着き、話の中に入っていくことができました」「おふたりの朗読が心に響き、物語や情景が浮かぶようで、とてもよかったです」などの声が寄せられた。
	③図書館近隣の小学校の図書館見学（令和2年度）	達成した	アンケートは行っていないが、質疑応答の時間では、蔵書数・貸出数などの他、ゲートや書籍消毒器といった館内設備にまで質問が及び、図書館への興味関心を喚起することができた。
	④早稲田大学教育学部との連携による図書館見学の実施、新規企画の検討（令和元年度）	達成した	令和元年1月に早稲田大学「社会教育実習IB」の授業を見学し、その後、学生の企画案を図書館へ持ち帰り、イベント企画の検討を行った。
	⑤出張おはなし会(東京女子医科大学病院保育所、いるまこども園、子ども総合センター「あいあい」)(令和元年度)	達成した	施設ごとに希望するテーマを確認した上で、資料を選書し、読み聞かせを行うことで、毎回児童や施設職員の方から、喜びの声をいただいている。
北新宿	①外国語のおはなし会の開催や館内表示の作成（令和元年度、令和2年度）	達成した	・総数(7)件 とても良かった(5)件 良かった(1)件 普通(1)件 「ゲームもあったのしかった」「またやりたい」など好評をいただいた。また「いろんな国のお話しもききたい」との感想もいただいた。
	②中学生の職場体験、小学生の図書館見学の受け入れ（令和元年度・令和2年度）	達成した	職場体験の中学生からは、「普段見られないような図書館の裏側が見られてよかった」「修理等の作業を実際にできて楽しかった」等の感想をいただいた。図書館見学の小学生からは、「おはなし会に来たい」「利用者カードをつくりたい」など今後の継続的な利用が期待できる感想をいただいた。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	地域との密着が重要であり、サロンとの交流も大切にしているため、重点事業として実施する。	重点事業	西落合
継続	地元の産業を知っていただくためにも重要な事業であるため、重点事業として実施する。	重点事業	
継続	「新宿学」講座は地元において反応が良いために重要と考えている。ただし、サブタイトルについては十分に検討して、興味深いものにしたいため、重点事業として実施する。	重点事業	
継続	令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、恒例となっていた国立国際医療研究センターと連携した医療セミナーは実施できなかったが、防衛省技官の方を招いた医療セミナーを実施した。今後は感染症対策を整えた上で、常にタイムリーな話題をテーマに設定し、引き続き国立国際医療研究センターと連携して、参加者自身の健康を顧みる機会を提供していく。	一般事業	戸山
手段改善	新型コロナウイルス感染症の影響により、募集人数を絞っているが、今後はより多くの方に朗読を楽しんでいただけるように、朗読の音声インターネット上に公開するなどのこれまでとは違う形式も検討していく。	重点事業	
継続	今後も新型コロナウイルスによる感染症対策の一環として、館内整理日に見学日を設定する形式で実施し、児童の図書館利用率が向上するようプログラムを工夫していく。	一般事業	
継続	令和元年度は、学生の企画案を採用したイベントの実施には至らなかったが、今後も早稲田大学教育学部と連携し、イベント内容の刷新を図っていく。	一般事業	
手段改善	現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、以前のように出張おはなし会の実施ができていないが、図書館へ来館することが難しい児童に向けて、違った形での支援策を検討していく。	一般事業	
継続	令和元年度は近隣日本語学校の留学生を読み手に迎え、「韓国語のおはなし会」を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は中止となったが、参加者からの次回実施要望の声もあり、令和3年度は状況を見て、早期の開催を予定している。	重点事業	北新宿
手段改善	令和元年度は職場体験、図書館見学ともに実施できたが、令和2年度は職場体験については新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。図書館見学については、1校において実施できたが、もう1校は来館が難しかったため、児童からの質問を受け付け、書面で回答する形での実施とした。令和3年度は学校と連携を図り、より良い方法を検討して実施していく。	一般事業	

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
中町	①神楽坂まち飛びフェスタへの参加（令和元年度・2年度）	達成した	アンケート等を実施していないが、しおりのプレゼント（令和元年度）、「神楽坂 本のまちマップ」の配布（令和2年度）やリサイクル本の提供などが好評であった。
	②「中学生のオススメの本」発行（令和元年度・2年度）	達成した	参加した中学校の生徒が展示を見に来るなど、来館のきっかけづくりとなる成果を得られた。
	③フランス語絵本おはなし会（アンスティチュ・フランセ東京）（令和元年度）	達成した	フランス語圏利用者の参加者は母語を堪能していただき、近隣の利用者からは、「図書館でアンスティチュ・フランセ東京の先生のフランス語に触れることができるのは、この地域に住んで得た気分になった。続けてほしい。」という感想があった。
	④アンスティチュ・フランセ東京「読書のタペ」参加（令和元年度・2年度）	達成した	
	⑤ひらいて楽しむ！フランスのポップアップ絵本（アンスティチュ・フランセ東京）（令和元年度）	達成した	
角筈	①西新宿団体グループ、角筈地区青少年育成委員会、西新宿児童館での情報交換会と連携事業の開催（令和元年度）	達成した	地元のカフェオーナーにお願いした『珈琲講座』では「実践講座で楽しかった、また開催して欲しい」東京フィルとの共催イベントでは「公共図書館行事としてこのような機会に参加できて大変満足しています」などの声が寄せられた。
	②近隣教育施設、地域のお祭り行事等に参加し、出張おはなし会を開催（令和元年度）	達成した	・中央公園夏祭りにて、「近くに図書館があることを今回知りました、今度親子で行きます」などの声が寄せられた。
	③こども食堂活動支援（令和元年度）	達成した	「待ち時間に、本を読ませることが出来て、子供達も喜んでいました」などの声が寄せられた。
	④近隣大学及び専門学校との連携（令和元年度）	未実施	—
大久保	①「大久保地域センター五月まつりおはなし会」の実施（令和元年度）	達成した	アンケートは実施していないが、地域センター主催の「五月まつり」にて、おはなし会を開催。その中で『笑顔をくれたおおくぼつつじ』の絵本を使って、大久保つつじの紹介等を行い、親子で参加をされた方々からは、喜ばれた。
	②大久保・百人町地区クリーン活動への参加	達成した	アンケート等を実施していない。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ウェブ上での参加となったが、地域の交流と神楽坂を中心とした地域を知る機会となるため、今後も継続して参加していく。	一般事業	中町
継続	この事業は、近隣の中学校との連携で、生徒に書いてもらったおすすめ本の書評を冊子として制作し、館内で配布している。中学生に関心のある本を知ることができ好評であるが、一般事業として実施していく。	一般事業	
継続	アン스티チュ・フランセ東京のフランス語の先生が読み手であるため、利用者にも大変満足度が高い。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、今後は、一般事業として実施していく。	一般事業	
継続	アン스티チュ・フランセ東京主催イベントへ職員が参加することにより連携が図れるため、今後も継続して実施していく。	一般事業	
手段改善	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、今後、テーマや手段等を変え、一般事業として実施していく。	一般事業	
継続	西新宿は再開発を控え、地元企業や商店街、学校関連の連携も今まで以上に活性化していくことが予想される。既存の事業に留まらず、新規事業にも積極的に参画していく。	重点事業	角筈
手段改善	新型コロナウイルス感染拡大防止を視野に、お祭り以外の期間でも、要望の多い屋外での読み聞かせも検討していく。	一般事業	
継続	本事業は、こども食堂へ本を持参し貸出しをするものである。今後、こども食堂が実施される場合は、持参する本の冊数を増やし、大勢の子ども達に本が行き渡るようにしていく。	一般事業	
継続	新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかったが、ビジネス関連のセミナーは人気が高いため、近隣大学、専門学校ともに連携を継続していく。	重点事業	大久保
継続	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。新型コロナウイルス感染症の収束を見越して、地域センターとの協力関係をより強固にしているため、継続しての参加を検討していく。令和3年度は、例年5月に行っている開催時期をずらす予定である。内容は、通常のおはなし会の回数が2回に増えることになるが、区長をはじめ、地域の関係者が多数見学に来られるとともに、来館者がたいへん多いことから重点事業として考えている。	重点事業	
継続	月に1回、特別出張所と新大久保商店街振興組合が中心になって行っている。地域との連携強化のため、コロナの感染状況を考慮に入れながら、参加を継続していく。	一般事業	

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
下落合	①一般企画展示「染める 染まる 暮らしの中の伝統美」(2020年「染の小道」実行委員会との連携)(令和2年度)	達成した	47日間の展示期間中で展示資料が53点に対し貸出資料は75点であった。「とても素晴らしい展示を実施頂きまして、誠にありがとうございます」「本日、図書館に伺って実物を楽しませて頂きました」「地域のみなさまにこの時期は「染の小道」ということを思い出して頂ける良い機会を頂き、実行委員会のメンバーみんなで喜んでおります」などの声が寄せられた。
	②「新宿の地場産業を知ろう!染ものまち歩き」(2019年「染の小道」実行委員会との連携)(令和元年度)	達成した	・総数7件:「とても良かった」7件「普段公開されていない工房を見学させていただき貴重な経験ができた」「染色体験でバッグ両面をデザインできたのでとても良かった」などの声が寄せられた。
	③出張おはなし会(令和元年度)	達成した	出張先の先生方より「いつも子どもたちが楽しみにしているので、継続してぜひまた来てください。」との声が寄せられた。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	<p>下落合地域に特有の資料展示であることから利用者の興味を引くことができた。また、地域の伝統工芸作品である、大型の暖簾を借用した展示もインパクトが大きいのとなった。地域団体との連携も良好で、今後も地場産業を盛り上げていけるように一層協力関係を築いていく。</p>	重点事業	下落合
継続	<p>館内での地域情報の発信だけでなく、染色業を利用者が実際に体験する機会を提供することで、多面的な地域連携の展開を目指している。工房見学については、染色工房からも好評で、惜しみなく協力を得られる関係を構築できた。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、今後も地場産業と利用者の橋渡しとなるように事業を継続し、新型コロナウイルスの感染状況により開催形態を検討していく。</p>	重点事業	
継続	<p>周辺地域の保育園・幼稚園からの要望に応じて、出張おはなし会を行っている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響から開催できなかったが、新型コロナウイルスの感染状況を見定めながら開催を検討していく。</p>	一般事業	

(5) 調べ学習への支援

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
こども	子ども読書リーダー講座「レファレンス調査隊」の開催（令和2年度）	達成していない	<p>・令和2年度の子ども読書リーダー講座は「1日図書館員体験」を実施し、「レファレンス調査隊」は行わなかった。</p> <p>なお、日々の業務で調べ学習の質問や相談に応じ、レファレンスや図書の紹介等を行っている。</p> <p>・学校向け調べ学習支援として行っている「学習支援便」の利用は、増加している。</p>
四谷	調べる学習コンクール（令和元年度・令和2年度）	達成した	コンクールのためアンケートの実施は行っていない。令和元年度における応募者数は152名、令和2年度における応募者数は61名であった。
鶴巻	①「調べる学習コンクール」関連事業の開催（調べる学習ガイダンス・百科事典の使い方講座・地域の学校への出張授業）（令和元年度）	達成した	令和2年度の「調べる学習コンクール」では、区内応募者数の3分の1以上の作品が鶴巻図書館担当の学校から集まっており、地域の各学校において事業が定着してきていると言える。令和元年度には出張授業を17回実施し（令和2年度は出張授業中止）、各校から図書館への期待も大きい。
	②「調べる学習コンクール」関連事業の開催（調べる学習ガイダンス・個別相談会開催）（令和2年度）	達成した	
	③地域の学校に対し、図書館見学や職場体験などの連携を行う。（令和元年度・令和2年度）	達成した	
西落合	①調べる学習コンクール（令和元年度・令和2年度）	達成した	コロナ禍で参加数は大幅減。それでも小学生23名、中学生47名、合計70名が参加してくれた。
戸山	①学習支援事業：小中高生向けガイダンス「コツをつかもう！調べる学習」（令和2年度）	達成した	「授業形式で子供に話して頂いたことで、子供も流れがつかめたと思います」「分かりやすくてよかった」などの声が寄せられた。
	②学習支援事業：保護者向けガイダンス「調べる学習の進め方」（令和2年度）	達成した	「【調べ学習】とは何だろうと以前より興味をいただいていた」「今回、参加させていただき、概要がつかめました」などの声が寄せられた。
	③学習支援事業：百科事典講座「チャレンジしよう！百科事典」（令和2年度）	達成した	「ゲームが楽しかったから」「調べるのが楽しかった」などの声が寄せられた。
	④学習支援事業：社会科見学「パナソニックセンター東京」「JICA地球ひろば」（令和元年度）	達成した	「いろいろなことを知れて、また一つ頭がよくなってよかったです」「個人では行く事がなかったので良いきっかけになった」などの声が寄せられた。
	⑤学習支援事業：理科実験教室「いろんなものを飛ばしてみよう！」（令和元年度）	達成した	「体を使って楽しめてよかったです」「子供も興味をもって参加できました。」などの声が寄せられた。
	⑥学習支援事業：個別相談会「調べる学習強化月間～個別相談学習会～」（令和2年度）	達成した	アンケートは実施していないが、計5名の児童の個別相談を受け付けた。その内、1名は区内で優秀賞を受賞した。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
継続	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は、子ども読書リーダー講座で「レファレンス調査隊」講座の開催を予定している。今後も事業内容を精査・充実し、引き続き日々のレファレンスとともに重点事業として継続する。 ・学校との意見交換を行い、学校の要望を参考にして「学習支援便」や「朝読書」セットの整備を図る。 	一般事業	こども
継続	令和2年度は新型コロナ禍で応募者数が元年度に比べ半数以下に減少したが、館長賞が元年度の1点に対し2年度は2点であった。さらに全国コンクールでは元年度が佳作1点であったのに対し、2年度は優良賞1点及び佳作1点と経験者を中心に質の高い作品が増えたことを踏まえ、今後も質の向上を目指し継続していく。	一般事業	四谷
継続	令和元年度は、3つの小学校で延べ9日間の出張授業を行い、対象の児童は500人になった。また、図書館でも16人の個別相談に応じた。令和2年度は、コロナの影響で学校からの要請がなく出張授業はしなかったが、個別相談会を2日間開催し、7組の親子に対応した。	重点事業	鶴巻
継続	出張授業、個別相談とも2人程度の職員が数か月かけて準備や学校との調整に当たっており手間やコストはかかるが、新宿区立図書館が力を入れており、今後も重点事業として進めていく。	重点事業	
継続	近隣の学校は「調べる学習コンクール」への応募数も多く、区立図書館に対して非常に好意的で関心が高い。令和2年度の図書館見学では、職員2人が児童への説明に当たった。ノウハウは蓄積できており、一般事業として実施していく。	一般事業	
継続	これまで重点事業として実施しており、今後も積極的に「調べる学習コンクール」への支援を行っていくため、重点事業として実施する。	重点事業	西落合
継続	全3回で完結する形式ではなく、内容をコンパクトにまとめることで出来る限り多くの児童が参加できる形に変更する。また、調べる学習の進め方を参加者がより理解できるようガイダンス内容の刷新を図っていく。	重点事業	
廃止・終了	参加者の満足度は高いが、参加人数が伸びないため事業を終了し、保護者への支援は、児童向けガイダンスや個別相談会の中で、アドバイスを行う形とする。	実施しない	
継続	児童にも分かりやすいようにゲーム形式で百科事典の使い方を紹介しているが、百科事典の解説を読み取ることが難しい場面が見られるため、読解の手助けとなる方法についても検討し、引き続き重点事業として実施する。	重点事業	戸山
継続	例年、調べる学習に関するテーマ設定や調べる手段の1つとして実施しているが、外部施設への訪問を行う意義なども検証しつつ、今後は新型コロナウイルスによる感染状況も鑑みて、講師を図書館に招くなど感染リスクの少ないイベントも企画し取り入れていく。	重点事業	
手段改善	参加者の満足度も高く、楽しく自然科学の原理を学ぶことができる場として、引き続き本イベントを実施していく。1回に参加できる児童に限られるため、会場の規模を再考し、より多くの児童の参加できる形を検討していく。	重点事業	
継続	多くの児童が参加できるようにするため、相談会のために設定した日時以外でも、参加者の希望日には可能な限り対応し、学校への周知を強化していく。	重点事業	

図書館名	重点事業達成のための取組み事業 (令和元年度・2年度の事業名)	達成度	利用者の声
北新宿	「調べる学習コンクール」、関連事業の開催 (令和元年度、令和2年度)	達成した	令和元年度は125名、令和2年度はコロナ禍の中、42名の応募があった。また令和元年度の応募作品には、全国コンクール、小学生（高学年の部）において、『図書館振興財団賞』に選ばれる作品があった。
中町	①調べる学習お助け隊（令和元年度・2年度）	達成した	「調べ方が分かった」「（ワークシートを）夏休みの宿題に使いたい」などの声が寄せられた。
	②としょかん職場体験～なかまち調査隊～（令和元年度）	達成した	「図書館の仕事（装備や予約本の準備など）がわかった」「普段は見られないところが見学出来て楽しかった」などの声が寄せられた。
角筈	図書館を使った調べる学習コンクール（令和元年度・令和2年度）	達成した	<ul style="list-style-type: none"> ・関連行事の見学ツアー参加者から「自分たちで見ていたときと、学芸員さんの説明を受けたときには、感じ方が違ったので参加してよかった。分かりやすかった」との感想を頂いた。 ・2020年度高校生の部において、『文部科学大臣賞』を自館提出作品から選ばれた（直近4年間で3度目の受賞）
大久保	「調べる学習コンクール」窓口相談業務の実施（令和2年度）	達成した	お子さんからの相談窓口を設け、随時相談を受け付けた。具体的には、テーマの決め方がわからないという相談がほとんどであり、過去のレプリカをお見せしながら、日常生活で気になること、普段のニュースなどで取り上げられたこと、趣味の世界からふくらませたことなどをアドバイスをした。
下落合	①子ども司書認定講座「OPACを使った図書館謎解きワークショップ～ロボットからの挑戦状～」（令和元年度）	達成した	・総数4件：「とても良かった」3件、「よかった」1件「謎がむずかしかったから楽しかった」「ペッパーくんやOPACを使えたのがとても楽しかった」などの声が寄せられた。
	②調べる学習応援講座「調べる学習個別相談会」（令和2年度）	達成した	・総数3件：「とても良かった」2件、「よかった」1件「やさしく教えてもらったのがうれしかったです」「とても分かりやすい説明だった」などの声が寄せられた。
	③調べる学習応援講座「めざせ！百科事典マスター！」（令和2年度）	達成した	・総数2件：「とても楽しかった」2件「調べるのが楽しかった」などの声が寄せられた。

方向性	方向性へのコメント	取組み方針	図書館名
手段改善	関連事業について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、令和3年度は実施に向けて各学校と感染対策を講じながら進めるとともに、調べる学習支援講座として、外部機関と連携した講座を検討するため、重点事業として実施していく。	重点事業	北新宿
継続	令和元年度は招集型の講座として実施したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、内容を刷新して実施した。テキストを用いて自身ですすめられるようワークシートを充実させた。また、中町図書館のFacebooで告知するとともに館内で配布してレファレンスにも誘導した。今後は、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、講座の形式で再開し重点事業として実施していく。	重点事業	中町
継続	令和元年度は招集型の講座として実施したが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。今後は、新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、重点事業として再開し実施していく。	重点事業	
継続	新宿区図書館事業の中で、最重要取組として関連事業を進めていく。 参加校の数を増やすべく、新規の学校へも事前資料持参するなどアプローチを強化していく。	重点事業	角筈
継続	夏休み期間中は、随時児童担当者が、窓口相談業務を受付することができる体制を整えていく。必要に応じて、韓国語と中国語の対応も可能な状態にするため、引き続き重点事業として取り組んでいく。	重点事業	大久保
手段改善	案内ロボット「Pepper」や検索機を活用し、ICTに親しみながら図書館の情報探索の方法を学ぶイベントで好評となっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。今後、実施方法について検討する。	一般事業	下落合
手段改善	調べる学習コンクールに熱心な参加者から初心者まで、相談会のサポートの充実度について好意的な評価を得ている。今後も調べる学習支援に寄与するため現状維持していくが、新型コロナウイルスの感染状況により開催形態を検討する。	一般事業	
手段改善	調べる学習のツールとして百科事典は広く活用されている。特に初心者にその使い方をわかりやすく指導し、調べる学習を発展させていく環境を整えるため、現状維持していくが、新型コロナウイルスの感染状況により開催形態を検討する。	一般事業	

II. 図書館運営協議会の意見等

～新型コロナウイルス感染症対策下における区立図書館のあり方について～

1 はじめに

令和2年4月に緊急事態宣言が発出され、多くの図書館が臨時休館を余儀なくされました。しかしながら、図書館は住民の日々の暮らしに不可欠な公共施設であり、地域に深く根付いていることが再認識できた1年でもありました。

図書館は住民の身近にあって、生涯学習の基本的な機能を持っています。区立図書館は「新宿区立図書館基本方針」において、様々な課題について、自ら考え、他者と協働して解決する区民を支援すること、わかりやすい情報提供をすることなど、すべての人々にやさしい知の拠点であるとし、「区民にやさしい知の拠点」を使命と掲げています。現状の取組みに加え、常に図書館を利用する人々の視点と地域の実情に応じた取組みに期待し、このたび、新宿区立図書館運営協議会では、新型コロナウイルス感染症対策下における区立図書館のあり方について、以下のとおりまとめました。

2 新型コロナウイルス感染症対策下における区立図書館のあり方

(1) 感染予防のための新しい生活様式を踏まえた対策

区立図書館でまとめたこれまでの取組み（38ページ「新型コロナウイルス感染症対策－区立図書館での取組み」）により報告を受け、時節に合った感染症対策が講じられていたと感じております。特徴的な取組みは、区立図書館全館においてサーマルカメラによる検温を実施し、また、23区立の図書館ではおそらく唯一、1日2回利用者の一斉退館を求めて職員が館内消毒を行っていることが挙げられます。また、この図書館運営協議会においても対面とオンラインの両方で行うハイブリット会議も実施されました。

今後も、感染予防のための新しい生活様式を踏まえた、最新の知見に基づく効果的な対策を講じつつ、安全・安心でより魅力ある図書館サービスの実現をめざしていただきたいです。

(2) 広報の工夫

区立図書館における新型コロナウイルス感染症対策は、政府や東京都の要請及び区の方針により、急を要する対応を求められる場面もあったと思われます。しかし、利用者への周知については、区の広報やホームページ、館内掲示だけでなく、デジタル環境のない人々へは町会の掲示板や回覧板、ケーブルテレビ等を活用していただきたいです。一方、デジタルを活用している人々へはSNSを活用するなど、できる限り多くの方々へ休館等のお知らせが伝わる工夫を要望します。

また、休館のお知らせとは別に、新型コロナウイルス感染症対策下であっても工夫して実施している各図書館の取組みなどについては、積極的に発信していただきたいです。特に子ども達が興味関心を抱くような広報活動を行い、区立図書館の魅力を伝えていくことも大切です。

(3) 電子図書館サービスの導入

① 電子コンテンツ

イベントの中止が相次ぐ中、区立図書館では図書館講座として夏目漱石研究図書及び漱石作品の「オンライン朗読会」を配信したり、視聴覚講座として若手作曲家による「オン・デマンド・コンサート」を配信するなど、独自の電子コンテンツを作成し公開されました。また、ホームページに【お役立ちサイト集「docodemo(どこでも)としよしつ」】を掲載するといった、新たな試みにも取り組まれました。

一方で、図書館の役割である学びの場を提供する機能についても重要です。電子コンテンツだけでなく、対面とオンラインを組み合わせたイベントを実施するなど、新たな挑戦や工夫を期待します。

② 地域資料の電子化

図書館が臨時休館となった期間は、学習や研究、仕事の調べものに困った人は少なくなかったと思われます。特に市販されていない地域資料については、館内のみでの閲覧資料が多く、予約して借りることもできませんでした。区が発行している資料については、区で著作権を持っていると思われますので、このような資料から順次、電子化を進めてホームページで公開できるよう整備していただきたいです。

また、地域資料には、後世に継承していくべき貴重な資料も数多くあると思います。新型コロナウイルス感染症対策下の対応だけでなく、継続して電子化に努めていただきたいです。

③ 電子書籍貸出しサービス

新型コロナウイルス感染症の蔓延下において、全国の公立図書館が臨時休館した際は、感染症対策として、電子図書館システムを導入して電子書籍貸出しサービスを開始する図書館が急増しました。

電子図書館システムは、図書館に向くことなくオンライン上で電子書籍を借りることのできるサービスであり、新型コロナウイルス感染症対策だけでなく、視覚障害者等へのアクセシブルな読書環境の提供（後述）など、新たな図書館サービスの可能性を大きく広げるといったメリットがあります。しかしその反面、事業者が公共図書館向けにパッケージ化したコンテンツを貸出回数又は

年数の期限付きで提供するという硬直性もあり、地域の特性に応じた資料選定を図書館が自由に行うことができず、費用の設定も紙の書籍よりも高額となるというデメリットもあります。そのため、費用対効果の点なども含めてさらに検討するとともに、区民視点・利用者目線を踏まえて柔軟に対応する必要があると考えます。

紙の書籍の閲覧・貸出しとは異なる、新たな図書館サービスの展開として、区立図書館における電子書籍貸出しサービスの導入についても、積極的な検討を期待します。

(4) 子ども読書活動の推進

子どもの読書活動の推進は、公立図書館と学校図書館が連携し、相互の力を発揮しながら、地域や家庭、子育て支援とも連携して相乗効果を高めることにより、乳幼児から生涯にわたる読書の基礎を築くことが大切です。区立図書館では、「第五次新宿区子ども読書活動推進計画」に基づき、計画に掲げる基本目標「自ら読書を楽しみ、学び、成長する新宿の子どもたち」の実現を目指して取り組んでおられます。

新型コロナウイルス感染症対策下において、子ども向けのイベントに関しても軒並みに中止となりましたが、中でも保健センターで実施している乳幼児健診時のブックスタートについては、読書の基礎を築くことに大きな影響を与える事業です。保健センターや関連部署と調整を図り、再開に向けた協議を進めていただきたいと思います。

また、国のGIGAスクール構想を受け、令和3年度から区立学校に通う子どもたち全員がタブレットを持つようになりました。しかし、タブレット端末は活用する文房具の一つとして捉え、本の魅力も伝えながら、子どもたちを支え、子どもたちの学習に役立つ取組みにも期待しています。

(5) 地域住民の交流の拠点

「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）（中教審第212号）」において、図書館等の社会教育施設には、地域活性化・まちづくりの拠点、地域の防災拠点などとしての役割も強く期待されるようになっており、住民参加による課題解決や地域づくりの担い手の育成に向けて、住民の学習と活動を支援する機能を一層強化することが求められています。

中央図書館で新たに取組まれている旧校庭の暫定活用である「そらとだいちの図書館」事業については、「みんなの居場所をみんなでつくる」をモットーに図書館のにぎわい創出や、地域のゆるやかな繋がりが図れる事業です。今後、新型コロナウイルス感染症対策下において、屋内での読み聞かせが難しい場合は、青空おはな

し会を開催するなど、区民との協働による図書館運営とともに区民の自己実現を支えるための工夫に期待します。

3 障害者サービス

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」や「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」により、障害の有無にかかわらず、すべての国民が等しく読書を通じて、文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現に寄与することとされています。この法に基づく「読書バリアフリー基本計画」により、視覚障害者等の読書環境の整備の推進を図るため、アクセシブルな書籍や電子書籍等の提供を推進することとしており、計画的な取組みが求められているところです。併せて、図書館における必要な人材の確保、育成に努めるとともに、関係者の相互の連携や協働により、図書館サービスにおける合理的配慮の提供を一層進めるよう求めます。

4 著作権法の改正

令和3年5月に「図書館関係の権利制限規定の見直し等を含む改正著作権法案（著作権法の一部を改正する法律案）」が参議院本会議において可決・成立しました。このことに伴い、国立国会図書館による絶版等資料のインターネット送信や各図書館等による図書館資料のメール送信等のサービスが開始される予定です。区立図書館においても法案の趣旨を踏まえ、課題を整理するなど、本格実施に向けた準備が必要です。

5 新中央図書館等の建設

新中央図書館等の建設は、「新宿区公共施設等総合管理計画」において、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催と、その後の社会経済状況も見据え、建設に向けて検討していく。」との基本方針が示されていました。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催年度が1年遅れ、令和3年に開催される予定となりましたが、新たに策定された「新宿区第二次実行計画（令和3年度～令和5年度）」においては、なおも令和5年度末まで引き続き建設検討の期間とされています。

新宿区では、区立図書館を地域社会の知識基盤、すなわち「知の拠点」として明確に捉えています。図書館運営協議会としては、新中央図書館等の建設は、これまで述べてきた区立図書館のあり方への的確に対応し、あらゆる世代が学び集う場、新しい発見の機会を提供する、真の意味で知の拠点にふさわしいものとなるべき使命があると考えます。区は、区民の期待と新しい時代を捉えた「具体性」を持った新中央図書館等の建設計画に、できるだけ早く移行すべきです。併せて、区は老朽化や提供できる図書館サービスに制約があるなど、個々の地域図書館が抱える課題に

についても改めて捉え直し、新中央図書館とともに、これからの時代にふさわしい、「区民の誇り」、「まちの誇り」となるような区立図書館の実現に向けて努力されるよう、大いに期待するものです。

6 おわりに

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の世界的なまん延により、大変な一年を過ごしました。そのため、区立図書館も休館を余儀なくされました。しかし、図書館職員の努力により6月以降は、コロナ禍でも何とか基本的な図書館サービスを維持してきました。利用者の皆様の安全を確保しながら、出来る限りの図書館サービスを維持するために、図書館運営協議会でも上述のような議論を重ねてまいりました。

今後もしばらくはコロナ禍が継続すると推測しますが、図書館運営協議会では、可能な限りの図書館サービスを模索しながら、利用者の皆様のご理解を得て、図書館の新たなサービスを提言していきたいと考えております。一方、図書館利用者には、ポスト・コロナ時代の「新たな図書館利用の日常」という発想が芽生えてきています。これを契機にして、新宿区立図書館の使命である「区民にやさしい知の拠点」に加え、安全で安心な図書館環境の実現をめざして、区立図書館の「新しい日常」のサービスを構築していくことを期待しています。

III. 資料編

新型コロナウイルス感染症対策下における区立図書館の取組み

(1) 区立図書館全体の取組み

国内での主なニュース		区立図書館での取組み	
2020年			
1月16日(木)	国内で感染者が初めて確認		
1月31日(金)	世界保健機関(WHO)は、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を発表		
2月1日(土)	国は、新型コロナウイルスについて、感染症法に基づく指定感染症等に指定	2月3日(月)	区では、新型コロナウイルス関連肺炎対策本部会議(第1回)(のちに「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」に変更)を開催
2月5日(水)	大型クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客乗員のうち10人から新型コロナウイルスの感染が確認	2月21日(金) 2月22日(土)	新型コロナウイルス感染症対策本部会議(第7回)にて、区主催イベントの中止が決定され、翌日から開催される図書館イベント(おはなし会・保健センターでの読み聞かせ等含む)すべて中止
3月24日(火)	政府は、東京2020オリンピック・パラリンピックの延期を決定	3月1日(日) ~4月10日(金)	図書館サービスの一部中止(予約した資料の受け取り、資料の返却、館内OPAC・WebOPAC、新規利用登録、カウンター周辺の立入り、電話でのレファレンス、家庭配本、学校等への団体貸出のみ提供)
4月7日(火)	特別措置法に基づく緊急事態宣言(4/7~5/25)発出	4月11日(土) ~5月31日(日)	全館臨時休館
		6月1日(月) ~6月10日(水)	区内在住者に対し、新宿区「コロナ警戒期間」(6/30まで)による臨時窓口の開設(休館中に用意できた予約資料の受け渡しを開始)
		6月11日(木)	新たな資料予約の受付再開(Web、電話)
		6月11日(木) ~6月18日(木)	区内在住者以外に対し、休館中に用意できた予約資料の受渡しを開始
		6月19日(金) ~6月30日(火)	図書館サービスの一部再開(予約した資料の受け取り、資料の返却、館内OPAC・WebOPAC、新規利用登録、カウンター周辺の立入り、電話でのレファレンス、家庭配本、学校等への団体貸出のみ提供)
		6月26日(金) ~6月27日(土)	ホームページの充実、電子資料等の活用(【お役立ちサイト集「docodemo(どこでも)としよしつ」】、【「図書館のおすすめ資料」での資料リストの紹介】、パスファインダーを掲載)
		7月1日(水)~	開架式書庫、閲覧室、新聞・雑誌コーナー利用再開(ただし、入館者完全入替え制(1時間入館、30分換気・除菌)、座席数を減らす、検温、マスク着用などの感染防止対策を取りながらの図書館サービスを再開 ※四谷図書館は建物の都合上、整理券方式)
7月22日(水)	「Go To トラベル」開始(10/1から東京都も対象)	7月17日(金) ~8月20日(木)	ホームページの充実、電子資料等の活用(図書館ホームページにおける「新宿区平和事業」として朗読動画、関連サイト集等を掲載)
		8月1日(土)~	感染対策の徹底を実施したうえで、小規模イベントを開催
		9月15日(火) 10月1日(木)	中央図書館、中町図書館において専門家による感染症対策の実地確認
10月1日(木)	「Go To イート」開始	10月17日(土)	図書館の入館制限の緩和(1日2回(13時~13時30分、16時~16時30分)の時間帯に換気・消毒)、全館でサーマルカメラによる検温を実施
12月26日(土)	変異種が出現		
2021年			
1月7日(木)	二度目の緊急事態宣言発出(1/8~2/7)	1月8日(金)~ 緊急事態宣言 発出期間中	図書館開館時間の短縮(中央、四谷、大久保、角筈、下落合 21:45を20:00まで)※1月8日~9日は、臨時窓口(予約資料の受渡し・返却)を21時45分まで開設
2月2日(火)	緊急事態宣言発出期間の延長(3/7まで)		引き続き図書館の開館時間を短縮
3月5日(金)	緊急事態宣言発出期間の再延長(3/21まで)		引き続き図書館の開館時間を短縮
3月19日(金)	緊急事態宣言解除(3月21日付)		区独自で4/30まで「コロナ警戒期間」を設定したため、引き続き図書館の開館時間を短縮
4月9日(金)	まん延防止等重点措置の適用(4/12から5/11まで)		区で設定している「コロナ警戒期間」を5/11まで延長したため、引き続き図書館の開館時間を短縮
4月25日(土)	三度目の緊急事態宣言発出(4/25から5/11まで)		引き続き図書館の開館時間を短縮(区で設定している「コロナ警戒期間」を緊急事態宣言が解除されるまで継続)
5月7日(金)	緊急事態宣言発出期間の延長(5/31まで)		引き続き図書館の開館時間を短縮
6月1日(火)	緊急事態宣言発出期間の延長(6/20まで)		引き続き図書館の開館時間を短縮
6月20日(日)	まん延防止等重点措置の適用(6/21から7/11まで)		引き続き図書館の開館時間を短縮

(2) 各図書館の取組み（一般）

* 主に令和2年度に感染対策等として各館で行った工夫や努力等

中央図書館	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口利用者カードを直接手で受け渡ししないよう、受け取り用のトレイの使用を始めました。 ・一日2回の換気・消毒時間前には5分～10分程度余裕をもって利用者に退館を促す放送を流し、なるべく利用者が分散をして退館ができるよう配慮しています。 ・換気・消毒時間中には待機中の利用者が密にならないよう、待機場所の足元に立ち位置の目印を設置しています。 ・換気・消毒終了後には一時的な入口付近の混雑を避けるため整列入場・5人程度ずつの入館にご協力をいただくよう呼びかけを行っています。 ・窓口での利用者と職員の接触をなるべく減らすため自動貸出機の利用促進のためのキャンペーン企画を執り行いました。 ・館内で会議等を行う際は、平時より大きな会場で行い、会議中の換気の徹底をしています。また図書整理日に会議室で実施していた全職員参加の会議は、密を防ぐため館内放送での実施等に変更しました。 ・これまでもオリジナルのブックカバーの提供を行っていましたが、コロナ感染拡大の影響から利用が増えたため、増刷しました。 ・職員本人・同居親族等に発熱者が出た際には休みの取得と、上役に連絡をするよう徹底をしています。 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休館期間中の在宅勤務として、各職員が国立国会図書館配信の研修動画の閲覧やパスファインダーの作成等を行いました。 ・利用者への啓発のため、感染症をテーマにした展示を実施しました。 ・館内実施のイベントについて、来館せず参加していただけるようオンライン動画の公開に替えて実施をしました。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年2月～：オン・デマンド・コンサート（若手作曲家個展） ・令和3年3月：ビジネス講座 ・令和3年3月～：夏目漱石朗読会 ・縮小開館中にも利用者への情報提供に資するよう、図書館ホームページ上にデータベース、公共施設・大学で提供をしているサービス等の案内をする docodemo 図書室を設置しました。 ・利用者にもリサイクル資料を提供するコーナーについて、密を避けるため場所を変更しました。 ・年1回実施している特別図書整理について、令和2年度は緊急事態宣言により休館中の5月に実施することとなっていたため、休館期間内で日数を拡大し、職員の週休日や休憩時間、作業場所を分散して、作業中職員同士が密集しないよう配慮して実施しました。（地域館については期間を変更して1～2日拡大し、実施しました。）令和3年度も、中央図書館は開館日への影響を避けつつ月曜の休館日を利用して期間を拡大し実施しています。（地域館も前年同様の日数とする計画で実施中です。）

こども図書館	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会やイベントは事前申込制とし、参加は会場定員の半数以下とし、換気を十分に行うなど密にならない工夫を行いました。 ・座席を適正な数にし、昼の利用を制限するなど滞留しないようにしました。 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体書庫の立入制限を行った時期でも、学校や保育園等の要望に応じて本をセットした臨時便を送り、子どもたちが様々な本に触れる機会を提供しました。 ・乳幼児健診での絵本配付と読み聞かせは、絵本配付は通年で継続しましたが、読み聞かせは新型コロナウイルス感染症対策の影響で健診時間が短縮となりやむなく休止しました。 ・その代替として、健診会場でパネル掲示を行い、家庭での読み聞かせの楽しさ、大切さを周知しました。
四谷図書館	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四谷図書館は四谷区民センターの7階にあり、利用者はエレベーターで移動します。7階の図書館入口のエレベーター前が密になるのを避けるため、6月の予約資料受渡サービスのみの期間中は、四谷特別出張所の協力を得て、1階、7階、8階をトランシーバーで繋ぎ、8階受け取り待ち利用者人数の管理、1階からの誘導を行いました。また、1階のエレベーター待ちの利用者の列についてソーシャルディスタンスを保ち庁舎の外に至る待ち列の管理誘導を行いました。 ・7月からは館内利用が出来るようになったことに伴い、新宿区立図書館各館は1時間毎に30分間、消毒と換気を行うこととなり、その間利用者に館外に退出してもらう事になりました。しかし四谷図書館においてその通りに実施すると、退館時には上記のとおり7階の図書館入口でエレベーターを待つ利用者で密が発生します。これを回避するため、少なくとも1時間、最大2時間利用できる日付入りの利用券（利用案内等も記載された、1時間毎に異なる色の券種）を毎日作成、入口で配付・回収し、館内の 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休館中の取り組みとして、4月から5月にかけての休館中において、非常勤職員には、紀伊國屋書店、ヴィアックス及び国立国会図書館の研修コンテンツを活用するなどの自宅研修を行わせました。また、企画展示のアイデアのための資料調査も行わせました。

<p>滞在者数（100人以下に設定）を常時把握し、三密を発生しないよう努めました。</p> <p>また、毎時巡回し、残っている退館対象者へ声掛けを行い、合わせて館内消毒も行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 毎日の出勤時に職員が検温を行い、発熱の有無について記録をする感染症対策を開始しました。 	
<p>鶴巻図書館</p>	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 閲覧席に長時間の滞在をしないよう呼びかける案内を掲示しています。 • 利用者カードを直接手で受け渡ししないよう、受け取り用のトレイの使用を始めました。 • 利用制限を行っていた時期には、密にならないよう地面にテープを貼って、利用者同士の間隔を空けるよう配慮しました。また、利用者からの要望が高かった書籍消毒機が使えるよう1階の館内レイアウトを変更しました。 • 靴を脱いで上がる2階の児童室では、子どもや家族同士が密になるのを防ぐため、机や椅子を一部撤去し、間隔を空けてジョイントマットを設置しました。大人1人、子ども2人程度が座れるスペースを色違いで作り、家族間が距離を置けるようにしました。 • 館内の換気、消毒、清掃を行う際、対応職員によって個人差が出ないよう清掃表を作成しました。 • 手指消毒液の置き場所は、子どもの目に入らない高さに配慮して設置しています。 • 冷水機の使用を制限していましたが、使用開始にあたり、紙コップをカウンターに準備し、必要な方にはお渡ししました。 • 職員が休憩時に使う会議室にアクリル板を設置しました。 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> • 休館期間中には、在宅勤務で各職員がパスファインダーの作成や、オンラインでの図書館関連の講座を数多く受講しました。 • 新型コロナウイルス関連企画として、1月から2月にかけて、一般展示「身近にある感染症～感染症を知る～」を実施しました。 • 1月23日、時事講座「コロナ時代2年目へ～記者が最新情報を徹底解説～」を企画し、準備しました（結果的に年明けから感染状況が悪化し、緊急事態宣言が発出され、中止となりました）。 • 休館期間前に入館制限（児童室閲覧不可）時、子ども向けに「のりもの」「たべもの」など中身が分かるようにして「えほんのセット貸出」を行いました。 • 3月、オンライン講座「10年目のフクシマ 忘れ去らず共に歩もう」を実施し、会場とオンライン配信で69人が参加しました。 • 地元の商店会主催の「早稲田かつおフェスタ」を応援するために開催した講座「早稲田ミョウガと江戸東京野菜」の講座は申し込みが多数であったため、感染対策に留意し、講演者の協力を得て、同日に2回実施しました。また、子ども向けイベント「せつぶん工作会」も密を避けるため2部制で実施しました。 • 段階的なサービス再開時、予約資料の受け渡し方法が複雑であったため、メール連絡以外の方にハガキを送付しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易製本動画を作成し、中央図書館に企画書を提出しました。 ・人形劇は定員が例年の半分の設定であったため、申し込み受付の際に後日キャンセルされる場合は連絡をいただくことをお願いし、前日に再受付をしました。 ・おはなし会は予約制にし、新型コロナウイルスによる感染が生じた場合にも対応できるよう参加者の名前と連絡先を把握する形にしました。
西落合図書館	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンター前の導線に赤いテープを表示して利用者の間隔を空けてもらうようにしています。 ・事務室内にもパーティションを設置し、職員の昼食時などは密にならないよう時間配分や食事場所も考慮しています。また、昼食時の会話は控えるようにしています。 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平和事業では、コロナ感染拡大防止により、映画会などのイベントや展示は中止しましたが、「戦争の記憶をめぐるアーカイブ」と題した戦争当時の資料や映像、戦争体験者の声を集めた戦争資料アーカイブをまとめた資料を作成し、図書館のホームページに掲載しました。 ・人形劇は人気があるため、3月に人数制限、検温実施など会場の落合第二地域センターと綿密に打合せを行い、ガイドラインに従って実施しました。
戸山図書館	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が検温後に、すぐに手指消毒できるように消毒液の位置を記載台の横から、入口付近に移動しました。また、児童室入口にも消毒液を増設しました。 ・館内への入館制限を実施していた時期については、混雑が予想されたため、館外に座席を等間隔に設置し、利用者同士が十分な距離をとることができるよう配慮しました。 ・職員が自身の体調変化にいち早く気が付くことができるよう、出勤時に検温を実施し、体温を記録する形にしました。 ・カウンターだけでなく、事務室内にもビニール 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会は予約制にし、新型コロナウイルスによる感染が生じた場合にも対応できるよう参加者の名前と連絡先を把握する形にしました。(参加者の個人情報については、イベント終了後に一定期間保管し、廃棄しております。)以前の会場は児童室内にあるおはなし室でしたが、距離をとることが難しいため、児童室内の別のスペースを使用しました。 ・イベント実施時には、感染対策として休憩時間を設け、入口の扉や窓を開放し、入室時の手指消毒、検温を実施しました。また、講師や職員

<p>カーテンを設置し、飛沫防止に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休憩時間に職員同士の座席が隣り合わないよう席順を工夫し、職員同士の接触機会を減らしました。 	<p>はマスクやフェイスガードを使用し、参加者同士が一定の距離を保つことができる位置に机・椅子を設置しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの拡大に伴う休館時には、書架見出しのデザイン刷新、レファレンスブックの内容刷新、企画展示準備、読み聞かせ動画の制作を行いました。また、職員のスキル向上のため、各自で TRC 本社が作成した動画コンテンツを視聴し、研修を行いました。 ・選書の面においては、新型コロナウイルスや感染症に関連した資料を多く受け入れました。 ・企画展示では人間と感染症の歴史をテーマに、8月から11月にかけて、「人類 vs 感染症 5大パンデミックと身近な感染症」を実施しました。
<p>北新宿図書館</p>	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北新宿図書館は複合施設の3階にあるため、予約本受取りのみの対応時は、開館時間中すべての時間に、施設1階入口に職員が待機し、返却資料の受取りとご案内を行いました。 ・職員と利用者の対面会話を少なくするため、並ぶ位置などが一目でわかるよう、掲示でのご案内しました。 ・6月のサービス再開時、国会図書館の奨励に倣い全館で返却資料を72時間隔離後に返却処理していた際は、返却の方全員に案内資料を配布するなど工夫しました。 ・カウンターに並ぶ際の列の誘導を、足元に表記し、間隔を保って並べるようにしました。 ・予約資料は、表面をクリーナーで拭き取りをしてから、予約棚に並べるようにしています。 ・児童室の絵本コーナーは、広いカーペットスペースになっているので、閲覧スペースと、本を選ぶ方のためのスペース、密にならない様、予め線を引いて分けし、間隔を確保しています。 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント実施については、人数制限とともに、同日複数回の実施へ変更、感染拡大防止に留意し、安心して参加いただけるよう工夫しました。なかでも、1月実施の工作会「くるくるコマをつくろう！」は、感染拡大の状況を鑑み、中止も検討しましたが、募集開始から人気の高い企画であったため、急遽、家族ごとの4回実施とし、入れ替え時間に、使用したペンなどを全てを消毒し準備しました。また、開始終了前後に、室内で2家族が一緒になる場合も、動線を分けて、入れ替えによる密が発生しない様、配慮しました。 ・おはなし会は、通常館内の「おはなしの部屋」を使用するところ、密を避けるため、複合施設内生涯学習館ホールを借用し実施しました。 ・休館期間中、在宅勤務では、職員全員に同じ研修メニューを作成し、受講を進めました。オンライン研修の他、企画作成や、ミニ展示の選書リスト作成、ストーリーテリングでおはなしを

<ul style="list-style-type: none"> 冷水機の使用を制限していましたが、使用開始にあたり、紙コップをカウンターに準備し、必要な方にはお声がけいただくようにしています。 利用者をご自身で利用いただける書籍消毒機と、本の表面を拭き取るクリーナーを設置しました。 事務室、休憩室の机上に飛沫防止パネルを設置し、休憩中の会話を控え、感染拡大防止に努めています。 職員全員が毎出勤時に検温記録表の提出を行い、責任者に口頭で体調報告をした上で、業務を開始しています。 	<p>覚えるなど、スキルアップに努めました。特に「ストーリーテリング」は、コロナ禍で親子時間が増えている現状を踏まえ、親子で楽しんでいただけるようなおはなし会の実施に向けて、取り入れました。定期的なおはなし会が開催できるようになった際には、職員全員でおはなし会を担当できるよう準備しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般向け「製本講座」や「ハンドメイド講座」は、「おうち時間を楽しむ」ことを意識しました。特に、12月に実施した「ハンドメイド講座」においてクリスマスリースを製作した際は、身近で手軽に手に入るもの、例えば落ち葉をリースに飾るなどを例として、お伝えするようにしました。 館内に立ち入り制限がある期間には、カウンター前に新刊とは別に、児童向けのおすすめ本を並べました。 段階的なサービス再開時、予約本受け取りについて、ご案内のはがきをメール連絡の方以外に送付しました。
---	--

中町図書館

<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> カウンター前に特別展示コーナーがありましたが、並んでいる利用者の列と自動貸出機を利用する方とが交錯する場所だったのでレイアウトを変更して密にならないようにしました。 予約本受け取りのみの期間中など、カウンターに並んでいる列は、ソーシャルディスタンスを確保すると、図書館入りロゲート (RFID) までの間に5人が限度。そのため、入りロゲートから地上への階段、階段から建物入り口付近と外まで、足形の張り紙をして、ゲートの外のソーシャルディスタンスも保てるよう工夫しました。 予約受け取りのみの開館時は、階段に並ぶ必要があったため、地上と階段、図書館入り口 (ゲート) の三か所に3人の職員の配置を行って対 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> 館内が狭く、近隣の貸室も利用できない状況になったため、フェイスブックを活用した事業を実施しました。(平和事業、調べる学習コンクール関連事業) 休館期間中に在宅勤務となった職員は、選定作業や書評の作成や研修資料・企画資料の作成などを行いました。開館後の図書館だよりや研修、コロナ禍での企画などに活かしました。 館内の配布物 (ブックリスト類、メール登録・検索などの利用案内) を充実させるなど工夫しました。 パスファインダーで感染症を取り上げ、通常より厚い内容で、ブックリストも別添するなど、今必要な情報を届ける工夫をしました。
---	--

<p>応しました。繁忙時には、連絡調整役に4人目の配置も必要でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の休憩室がないため、事務室での食事休憩は、パーテーション設置と「黙食」を徹底して対応しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部との連携事業も参集・対面では実現できませんでしたが、アンスティチュ・フランセ東京のオンライン行事には参加して連携を図りました。
<p>角筈図書館</p>	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館の入口に除菌足ふきマットを新たに設置しました。 ・カウンター業務は、使い捨てのゴム手袋を常に装着しました。 ・職員の休憩室にはアクリル板を設置しました。他個室も使用しなるべく少人数で休憩を取りました。 ・事務室、バックヤードでのエアコンの使用を励行しました。温度調整が必要ない時期でも、換気に有効なため、エアコンは常に使用しました。 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休館期間中、在宅勤務で各職員が開館後の図書展示の企画作成やパスファインダーの作成を行いました。 ・6月のカウンター対応時は利用者がエレベーターで5階の図書館まで来ることなく、1階のフロアで予約本のお渡しができる体制を整えました。
<p>大久保図書館</p>	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会の部屋には絨毯を敷いていましたが、ひとり用のマットを5枚ほど置いて代用しています。利用者の方々にもうまく活用していただいています。 ・おはなし会を開催する際は、地域センターの多目的ホール（100人収容）を借りて開催し、上述したひとり用のマットを、間隔をあけて敷いて活用しました。 ・消毒・換気の時間が終了する時は、整列入場のご協力の声掛けをして、秩序のある入場を徹底しています。 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「予防接種」「ワクチン」をテーマにしたパスファインダーを掲載し、情報発信をしました。 ・展示を中心にした「多文化」の企画展示をシリーズにして、秋以降に開催しました。その際、試験的に展示の向きを変えましたが、結果的に見やすく、「密」もあまり発生せず、効を奏しました。 ・その際、感想を自由に貼ることのできるコーナーを設置して、見学者との一体感を目指しました。 ・また新大久保商店街のHPに後記を掲載し、展示の様子を紹介しました。 ・在住外国人の方々の孤立を防ぐことを目的に、多言語の読み聞かせの動画の配信に着手しました。著作権の問題をクリアし、日本語・韓国語・中国語の収録、データ化まで終了しました。

	<p>ほかの言語に関しては、近隣の日本語学校のご協力をいただくことになっており、実現に向けて進めてまいりたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時休館中は、在宅勤務により個別に研修を行いました。インターネットを活用して、おもに「国立国会図書館のレファレンスツール」などに取り組み、ほかにPOPの作成などを行いました。
<p>下落合図書館</p>	
<p>①安全面での感染対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カウンター前のフロアに足型目印をつけることによって、間隔を空けて並べるよう配慮しました。 ・館内ポスターと定期的な館内放送で手指消毒とマスクの着用を促しています。 ・館内でマスクを着用していない利用者に対して随時声掛けを行なっていると共に、マスク未着用の利用者が入館する度に着用をお願いする館内放送を流しています。 ・書籍除菌機を児童コーナーから建物の入り口付近に移動させ、子育て世代に限らず全利用者が使いやすいようにしました。 ・スタッフは出勤時に各自検温を行ない出勤シフト表に記録し、体調を確認してから業務にあたっています。 ・事務室内の休憩室の利用人数を制限し、濃厚接触者を発生させないようにしました。 	<p>②サービス等の実施における努力や工夫について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館期間を活用して様々な掲示物の作成を行ない、利用者の必要とする情報がカウンター以外でも得られるよう館内掲示物をアップデートしました。(図書館ホームページのパスワード登録・メールアドレス登録に関するわかりやすい手引きの作成、館内図のリメイク、自動貸出機への誘導案内、開館時間等) また、特に需要が増大している新型コロナウイルスや感染症についての資料や、自宅で活用できるテレワークや趣味の資料等について、積極的に収集に向けた検討を行ないました。 ・イベント実施時には、募集人数の削減とソーシャルディスタンスの確保(間隔を空けて敷きマットを配置し、一家族ごとに使用してもらう等)を徹底しました。会場に入る際には参加者全員のマスク着用と手指消毒をお願いしました。講師側は必要に応じてマスクに加えフェイスカバーを着用しました。 ・行政書士相談会の会場を、行政書士と相談者の間に十分な距離を確保できる大部屋に切り替えました。また相談者の交代時には毎回机や椅子の消毒と換気を行ないました。

(3) 子ども読書活動全般における取組み

1 共通取組事項

① 新型コロナウイルス感染症対策の徹底

- ・ 書架への立入り制限及び休館期間（3月1日から6月30日）
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開館（7月1日以降）
利用者入れ替えと消毒を実施し、安全・安心な図書館運営を全館で推進した。
なお、利用者用の資料除菌機を令和3年度の4月中旬頃に全館で利用可能となる予定
- ・ 国の緊急事態宣言を踏まえて対策を徹底し、おはなし会等を実施。一方、中止する館も相次いだ。

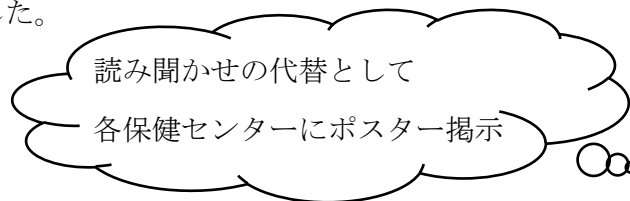
② 絵本でふれあう子育て支援事業

(ア) 0歳児、3歳児の乳幼児健診時の絵本配付

0歳児は保健センターで絵本2冊、3歳児は図書館で好きな1冊を選んで貰う。
→配布中

(イ) 0歳児、3歳児の乳幼児健診時に地域ボランティアによる読み聞かせ

乳幼児検診での滞留をなくすため、当面、中止。今後、ワクチン接種等もあり、再開は未定である。代替策として、読み聞かせや家庭読書の大切さを訴えるポスターを掲示し、周知した。



③ 「新宿区立図書館を利用した調べる学習コンクール」

令和元年度の半数程度の応募があり、全国コンクールの入賞作品数では昨年度と遜色のない成果となった。審査員からは、「自由研究の時間が確保できない中で子どもたちの頑張りにエールを送りたい」等の講評が寄せられた。

(ア) 地域コンクール参加校・応募数の推移

年度	実施館数	参加校数				応募数			
		小	中	高	合計	小	中	高	合計
平成30	9	32	8	3	43	2,244	582	241	3,067
令和元	9	30	8	2	40	1,780	528	334	2,642
令和2	9	28	6	4	38	789	205	245	1,239

(イ)表彰作品数の推移

年度	地域コンクール					全国コンクール									
	館長賞	優秀賞	特別賞	奨励賞	合計	全国コンクール推薦数	文部科学大臣賞	観光庁長官賞	日本図書出版会賞	日本児童教育振興財団	図書館振興財団賞	優良賞	奨励賞	佳作	合計
平成 30	31	30	-	241	302	61	1	0	0	1	0	3	11	45	61
令和元	23	30	-	208	261	53	0	0	0	0	1	2	9	41	53
令和 2	19	6		101	126	25	1	0	0	0	0	4	7	13	25

④ 新型コロナウイルス感染症対策下における子ども読書活動の現状と課題について

(ア) 令和 2 年度の状況について

- ・在宅勤務が普及した影響か、平日に多くの親子、それも父親と来館して絵本や紙芝居を読む姿を多く見受けられるようになった。
- ・乳幼児や小学生向けの人形劇、子ども読書リーダー等の行事は人数制限を行っている影響もあり、子どもたちが誘い合って満員になることが増えた。
- ・読み聞かせ講習会やサポーター講習会は、従来、読み聞かせ団体や学校の読みきかせボランティアの参加が多かったが、今年度は読み聞かせを今後してみたい、初めて参加したという方の参加が多かった。

(イ) 今後の課題と方向性

- ・中高校生向けイベントの広報として、区報や区のツイッター等は彼らに届かないようであった。学校の先生方や図書クラブとの意見交換や、ZOOM の活用等により参加しやすい広報・内容を検討していく。
- ・「新しい日常」の影響により、家庭で過ごす時間が長くなり、読書への関心が高まっているようである。これを好機として様々な本との出会いの場や成長段階に応じた読書支援により子どもの読書習慣の醸成を図っていく。



「新しい日常」に対応したおはなし会（こども図書館）

- ・毎日実施→週 3 回の実施
- ・だれでも参加→定員の設定及び抽選制
- ・間隔を開けた配席
- ・常時換気
- ・マスクの着用
- ・座席マットの消毒

(4) 各図書館での取組み (児童)

下落合図書館

- ・ **乳幼児**：0歳児・3歳児の乳幼児健診にて毎月2回、読み聞かせおよび図書館案内を実施予定だったが、中止している。その他、館内で実施予定だった乳幼児向けイベント2つも中止。館内で配布しているブックリストを積極的に配布した。
- ・ **小学生**：10月に家族で楽しめる人形劇を実施した。その他のイベントは中止した。
- ・ **中・高校生**：講座を2回実施予定だったが中止した。館内の月変わりの展示の充実に努めた。
- ・ **障害のある子どもや外国語を母語とする子ども**：英語のネイティブスピーカーである講師を招き、英語による工作会を実施し、多文化に触れる機会とした。
- ・ **お話し会**：季節感のあるおはなし会を12月に2回実施した。通常のおはなし会は中止している。

北新宿図書館

- ・ **乳幼児**：2月にわらわらおはなし会を予定していたが、中止となった。
- ・ **小学生**：12月、1月に季節感のある工作会を実施した。3月にも工作会を予定している。映画会、人形劇はすべて中止となった。
- ・ **中・高校生**：夏休みに合わせてYAコーナーでおすすめ本の展示を行った。
- ・ **障害のある子どもや外国語を母語とする子ども**：近隣の日本語学校と連携し、外国人留学生による外国語のおはなし会を行う予定だったが、すべて中止となった。
- ・ **お話し会**：9月30日(水)より通常おはなし会、10月22日(木)よりちいさい子向けおはなし会を再開し、10月にはハロウィンスペシャルおはなし会を実施したが、緊急事態宣言の再発令を受け、1月以降のおはなし会は中止とした。
- ・ **その他**：読書手帳を3月より配布予定。

共通取組事項

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の徹底
- ・ 「図書館を利用した調べる学習コンクール」の実施
- ・ 0歳児・3歳児の乳幼児健診時に絵本配付

西下落合図書館

- ・ **小学生**：調べ学習の仕方やコツを解説する出張授業の実施
ピプリオバトルの普及活動、小学校で開催されたピプリオバトル決勝戦の準備・補佐
・ 図書館見学の受入
- ・ **障害のある子どもや外国語を母語とする子ども**：福祉施設へリサイクル図書配布の案内を送付
- ・ **お話し会**：読み聞かせ絵本の案内「この本よんで」の作成・配布
- ・ **その他**：調べものに役立つパスファインダーの作成
(感染症など最近の話題のテーマを新規に作成)

中央・こども図書館

- ・ **乳幼児**：0歳児・3歳児の乳幼児健診で、絵本を配付
- ・ **小学生**：図書館見学(11月)、子ども読書リーダー講座(1月・3月)
- ・ **中・高校生**：ホームページ企画講座を3月に開催
- ・ **障害のある子どもや外国語を母語とする子ども**：①病院配本を通年実施
②中国語と日本語のお話し会を2月に実施し、多文化を紹介
- ・ **お話し会**を12月から毎週3回再開
- ・ **その他**：「本と絵本の講座」「読み聞かせ講習会」「サポーター研修会」を実施。ホームページに動画等を掲載(dokodemoとしよしつ)

大久保図書館

- ・ **乳幼児**：10月より月1回幼稚園を訪問し、読み聞かせを実施
- ・ **小学生**：11月より月3～4回小学校の朝読書の時間に訪問し読み聞かせを実施
- ・ **中・高校生**：なし
- ・ **障害のある子どもや外国語を母語とする子ども**：11月の幼稚園訪問のおはなし会で、朝鮮語・中国語・日本語で読み聞かせを実施。
- ・ **お話し会**：12月に「クリスマスおたのしみ会」を実施
- ・ **その他**：外国語の読み聞かせの動画配信をホームページで3月から実施

角筈図書館

- ・ **乳幼児**：今年度はイベントを行えなかったため、おはなしの部屋の飾りつけに力を入れた。新しい飾りを手作りし、季節ごとに飾りを入れ替えた。
- ・ **小学生**：近隣の小学校と提携して小学2年生を対象に図書館見学を行った。
- ・ **お話し会**：10月～12月の間は、月に2回ほど大きい部屋を借りておはなし会を行った。12月には、「クリスマスおはなし会」として特別なおはなし会も行った。
- ・ **その他**：夏休みの時期に合わせて「つのはずミッションラリー」を開催。

鶴巻図書館

- ・ **乳幼児**：「おうちでおはなし会」を9月に実施
- ・ **小学生**：「図書館ビンゴ」を8月に実施
- ・ **中・高校生**第1回「つるまき本の帯デザイン賞」開催
- ・ **お話し会**：8～12月大きい子向け/10～12月小さい子向け(月1回)、季節に合わせたSPおはなし会を8月12月に実施
- ・ **その他**：年齢に合わせた工作会を9月・2月に実施
秋の読書週間に「クイズラリー」実施

戸山図書館

- ・ **乳幼児**：「工作会」を10月と12月に開催。「絵本作家による読み聞かせイベント」を12月に開催
- ・ **小学生**：「手作り絵本のワークショップ」を11月に開催
- ・ **障害のある子どもや外国語を母語とする子ども**：マルチメディアDAISY図書(活字による読書が困難な子に対して読書を支援する電子図書)を使ったお話し会を12月に開催フランス語と英語のお話し会を10月に開催
- ・ **お話し会**：お話し会を10月半ばから12月に週1回開催
- ・ **その他**：「絵本の原画展」を8月から9月にかけて実施

中町図書館

- ・ **乳幼児**：乳幼児連れの利用者が図書館をゆっくりと使える「赤ちゃんタイム」を実施(毎週水曜日)
「はじめてのプログラミング講座」(4～6歳対象)を開催(3月)
- ・ **小学生**：「しかけ絵本づくり講座」を開催(12月)
- ・ **中・高校生**：①近隣中学生と連携し、「中学生のオススメ本vol.6」を作成・配布(3月)、②近隣中学生が作成した「本の帯」を本と一緒に展示(3月)
- ・ 「クリスマスおはなし会」を特別おはなし会として開催(12月)
- ・ **その他**：福袋形式で展示・貸出を行う「本のお楽しみ袋」開催(11月)

四谷図書館

- ・ **乳幼児**：地域センター祭りで小さい子向けおはなし会開催
- ・ **小学生**：かがく工作会開催、スタンプラリーの実施
- ・ **その他**：読書通帳の配布(通年)、人形劇、劇団公演の開催通算4回 小学校、中学校授業教材資料の相談、および貸出 小学校、中学校の教諭のボランティア受入
- ・ **お話し会**：子ども園等への出張おはなし会、配本の実施(月1回・通年)

- ・ **小学生**：
- ・ **中・高校生**：

印刷物作成番号

2021- 8- 5519

新宿区立図書館サービス計画（令和3～5年度）

発行年月 令和3年8月

発行 新宿区立中央図書館
新宿区大久保三丁目1番1号
電話 03-3364-1421（直通）

この冊子はグリーン購入法に適合した印刷用紙を使用しています。

